

平成30年度

みなかみ町教育委員会点検・評価報告書

(平成29年度事業対象)

平成30年12月

みなかみ町教育委員会

目 次

1. 点検・評価の概要	1
2. みなかみ町の教育行政方針	3
3. 教育委員会会議・教育委員の活動状況	13
4. 教育委員会各事業	
総務・学校グループ	21
生涯学習推進室	35
5. 学識経験者の意見等	55

1. 点検・評価の概要

1 はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行状況について、学識経験者の知見を活用して点検と評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務づけられました。

そこで、みなかみ町教育委員会では効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすことを目的として、同法の規定に基づいて実施した点検と評価の結果をまとめました。

この報告書は、教育委員会の活動について年度内の重要な施策事業について点検と評価を行うものであります。

みなかみ町教育委員会は点検と評価の実施を通じて、施策の効果的な実施と改善を図り、教育施策の着実な推進に努めたいと考えますので、皆さんの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成30年12月

みなかみ町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

【教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等】

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により、教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象事業

対象事業は平成29年度事業とし、総務・学校グループ、生涯学習推進室におけるそれぞれの重点項目事業とします。

3 点検評価の実施方法

教育委員会が行ってる事業についての取組状況が施策と成果の報告書によりまとめられています。報告書を基にして教育委員会会議・教育委員の活動状況も含めて教育に関し学識経験を有する外部の方々に意見をいただく。

4 外部評価者

学校教育関係 牧野 堯彦	元みなかみ町教育長
生涯学習関係 高橋 幹	元みなかみ町立月夜野中学校長

2. みなかみ町の教育行政方針

逞しく生きる心豊かな人々のまち

豊かな心と文化を育む

《基本理念》

みなかみ町教育委員会は、生涯学習の観点に立ち、幼児・児童・生徒並びに町民一人ひとりが夢や誇りを持つとともに、学校教育や社会教育・文化・スポーツさらに地域の貴重な歴史的・文化的資源などを活かし豊かな感性を育み、高い知性・健康な身体を培い、逞しく生きる心豊かな人々の町づくりを目指して教育行政を推進する。

《基本方針》

みなかみ町教育委員会は、基本理念の具体的実現を図るため、次の基本方針に沿って諸施策の推進に努める。

I 学校教育 …… 逞しく「生きる力」を育む教育

1 学校教育の充実

「みんなで仲良く学び合い、感謝と感動の心を育み、未来に向かって逞しく生きる児童・生徒の育成」を目指し、故郷みなかみを愛し続けるよう教育水準の向上や教育内容の充実に努める。

2 教育環境の整備

学校教育の充実のため、小・中学校や教育施設の設備等の計画的な整備に努める。

II 生涯学習・文化・スポーツの振興 …… 豊かなライフ・ステージを

3 生涯学習の推進

生きる喜びに満ち、心の豊かさと学ぶ意欲に溢れた生涯学習社会を目ざし、生涯学習推進体制の充実や関係機関・各種団体と連携を図り、町民の学習ニーズや人生の各時期に応じた学習の機会と場の提供に努める。

生涯学習社会に対応した多様な学習機会や施設・設備を整備するとともに、家庭や地域の教育機能の活性化を図るための諸施策の展開に努める。

4 文化財の保存と活用

町民の文化振興に関する意識を高め、誰もが楽しめる地域の文化活動を促進し、文化財の保存や活用等に努める。

5 生涯スポーツの推進

町民の生きがいと健康増進のため、みなかみ町スポーツ推進計画に基づき、全町民の生涯スポーツを目ざし、軽スポーツの普及や地域に根ざしたスポーツ・競技スポーツの振興を図るとともに、施設・設備の整備に努める。

《重点施策》

26 学校教育の充実

逞しく「生きる力」を育む教育を

1 学校教育の充実

(1) 学力の向上

① 学習指導の充実

- ア 特色ある教育課程の適切な編成・実施
- イ **基礎的・基本的学習内容の確かな定着**
 - ・少人数指導、T.T等個に応じた指導ときめ細かな指導の充実
 - ・学力向上計画の徹底、学力向上特配とコーディネーターの有効活用
 - ・**ねらいを明確にした授業の改善（教師の指導力の向上）**
 - ・意欲を引き出す授業の充実（学習の仕方を学ぶ）
 - ・「判断力・思考力・表現力」の育成を意図した授業の充実
 - ・効果的なICT活用による授業の充実
 - ・意図的・計画的な**家庭学習の充実**と徹底
- ウ **学力検査等を生かした授業の改善**
 - ・学力標準検査・全国学力学習状況調査の結果の分析と改善策の策定
- エ ALTの活用による英語教育・外国語活動の充実（**英語力の向上**）
 - ・小・中学校の連携教育、9か年間にわたる英語教育の検討（三国会）

(2) 教職員の資質の向上

① 教職員研修の充実

- ア 校内研修の内容及び方法の改善・充実
- イ 各種教員研修の充実（管理職研、初任研、3年・5年目研、10年目研、へきセン等）
- ウ 個人の研究課題による研修（自己研修）の充実
- エ 一人一研究授業の実践「**はばたく群馬の指導プラン**」の活用
- オ 三国会の研修の充実（小・中連携教育の推進・資質向上・異校種間）

② 教職員の心身の健康管理

メンタルヘルスの対策

- ・職員室の環境づくり（互いに学び合い・支え合い組織で取り組む）

③ 教職員の服務規律の確保

教育者としての使命と責任の自覚

(3) 心豊かな児童・生徒の育成

① 道徳教育・人権教育の充実（心情面・実践面）

ア 学習指導要領に基づく道徳教育の充実

- ・体験活動、諸行事等との関連を意図した指導の充実
- ・道徳教育推進教師を核にした組織的取り組み（量的・質的確保）

イ 人を思いやる優しさなど心の教育の充実 …… いじめ防止・福祉教育との関連

- ・あいさつ運動の徹底と拡大（おもてなしの心・明るい町）
- ・ふるさと愛校心の育成 …… 2ヶ月に1日（偶数月・第1金曜日）

学校周辺の清掃（清掃時間）

夏休み 1日 地域清掃奉仕活動

「ルールブック50」の活用 …… 凡事徹底

- ・体験活動等を通じたふるさと学習（ボランティア、みなかみ町の自然体験等）

ウ 家庭との連携による徳性の涵養

- ・家庭の協力による基本的生活習慣の確立

② 生徒指導の充実

ア 児童・生徒の安全・安心の確保

- ・通学路、登下校時の安全確保 …… スクールバス等の安全運行
- ・交通安全、不審者、鳥獣等からの安全確保
- ・自然災害等からの安全確保
- ・食の安全 …… 食物アレルギーへの対応
- ・地域における安全・安心協議会との連携の充実

イ 自己肯定感・自己有用感を育てる指導の実践（個性の伸長）

- ・全教育活動（授業、部活動、諸行事、学級活動、生徒会活動等）
- ・情報モラルの育成
- ・いじめ防止活動等の対策
- ・不登校児童・生徒の支援と未然防止

ウ 豊かで和やかな人間関係の醸成（児童・生徒間、教師間、保護者間）

- ・小中連携による中学校区ごとのあいさつ運動の展開
- ・海外や奄美等の児童・生徒間の交流体験による人間関係力の醸成

エ 教育相談の充実（スクールカウンセラーの活用）全小・中学校に配置

オ 適応指導教室の充実

カ 家庭・地域・関係諸機関・団体等との連携（健全育成・安全・安心の確保等）

③ 健康な身体を培う教育の推進

ア 強い心と体力を培う学校体育の充実

- ・体力向上プランの作成と実践
- ・健康づくりへの意欲と安全意識の高揚に努める指導の充実
- ・健康診断の実施と事後指導の充実
- ・運動部活動、社会体育の活用と充実（中学校）
- ・体力向上に向けた体育的行事の充実

イ 体力・運動能力調査結果の効果的活用（肥満や虫歯・裸眼視力の回復）

ウ 朝活動や放課後時間の活用の工夫と連携（放課後子ども教室）

エ 食育の推進による望ましい食習慣と健康

- ・食育推進に関する調理場との連携及び家庭と連携した「お弁当の日」の活用
- ・学校給食における地産地消の推進

④ キャリア教育（進路指導）の充実

ア 小・中学校におけるキャリア教育（進路指導）の年間計画の作成と実践

- ・地元企業等を活用した職場体験、体験入学等の啓発的体験的活動の充実
- ・地域の人材資源等の活用（地域支援センター）

イ 各教科、道徳、特活とを補充・深化・統合した体験指導の推進

ウ 進路相談の計画的な実施

エ 小学生の交流事業（奄美等）、中学生の海外派遣事業（タイ・カンボジア、台南）

オ 外部の教育力の導入と活用 …… 中学生議会

⑤ 人権教育の推進

ア 全体計画・指導計画の充実と実践

イ 全教育活動を通しての人権尊重の精神の育成

- ・人権啓発活動の推進（人権作文・ポスター、「家族のきずな」エッセイ等）

- ・「いじめを出さない」日常の指導といじめ防止子ども会議等の充実
- ・生徒会・児童会等、児童生徒の主体的活躍の推進

⑥ 福祉・環境教育の充実

- ア 全教育活動を通しての福祉・環境教育の充実
- イ 福祉・環境問題への具体的実践
 - ・ふるさとの自然環境体験学習の充実
 - ・あいさつ運動
 - ・ボランティア活動の推進(地域の花植え、老人ホーム慰問等)
- ウ 地域資源の教育的活用(人的・物的・自然等)
 - ・谷川岳エコツアーリズム、環境学習発表会、みなかみ源流大学等の活用
 - ・ユネスコエコパーク登録に係るユネスコスクールの検討

⑦ 読書活動の推進

- ア 学校図書館の充実
 - ・蔵書量と読書時間の増加及び図書室の環境整備
- イ「読書のすすめ」の実践
 - ・児童生徒の図書委員会の活動
 - ・家庭における読書のすすめ
- ウ 図書館司書教諭の積極的活用

(4) 特色ある学校づくり

① 学校経営の充実

- ア 課題を明確にした、適切な教育課程の編成・実施・評価・改善
 - ・教育内容、方法の多様化・弾力化
- イ 校長の理念の確立とリーダーシップ
 - ・管理職の人材育成能力の向上と職員の組織体制の確立
- ウ 地域に根ざした多様な教育活動の展開
 - ・地域資源の教育的活用(人的・物的・自然等)
 - ・家庭・地域との連携の強化 地域学習、環境教育、福祉教育等
 - ・みなかみウォーキングへの参加

(5) 小・中連携教育の推進

- ア 小・中学校間、こども園・小学校間の円滑な接続(不登校の未然防止)
 - ・行事、授業、体験活動等を活用した異校種間の児童・生徒との交流
 - ・小学校高学年の教科担任制
 - ・ALTを活用した英語教育・外国語活動の接続
 - ・教員の異校種間交流の推進
 - ・地区別推進委員会の充実
- イ 小・中学校9年間を見通した教育課程の研究
 - (道徳、算数・数学、英語、地域学習、福祉教育、キャリア教育等)

(6) 特別支援教育の充実

- ア 乳幼児から成人期までの支援システムの実践
 - ・町就学相談委員会の充実

- ・特別支援学級の指導の充実
- ・通常学級における指導の研究と改善（教職員専門性向上事業の活用）
- ・支援員の充実

- イ 通級指導教室の充実 3校で実施（桃野小・水上小・新治小）
- ウ こども園・小・中学校間の交流と連携の強化
- エ 子育て健康課など地域関連機関との連携・推進

（7）幼児教育の推進

- ア 適切な教育課程の編成・実施・評価
- イ 「思いやりのある子」を育てる教育の充実
- ウ 保育士の資質の向上
 - ・園内研修の充実
 - ・研修会への参加
- エ こども園・小学校との連携
 - ・特別支援教育の推進
 - ・小1プロブレムの解消
- オ 町教育支援委員会との連携

2 教育環境の整備

（1）環境整備

ア 安全・安心の確保

- ・教育施設・設備等の安全確保
- ・スクールバスの安全確保・通学路の安全確保（交通・不審者・鳥獣）
- ・校内生活での安心の確保
- ・食の安全確保…アレルギーへの対応
- ・地域との連携(安心安全・育成協議会「見守り隊や110番の家」の活用)

イ 防犯、防災など安全対策の充実

- ・防災計画および防災教育の見直し（火災、地震、水害等）
- ・自らの命は自らが守る教育（危機管理能力の育成）
- ・地域との連携

（2）国際理解・交流学习の推進（人間関係力・自己有用感の育成）

- ・中学生海外派遣事業への参加
- ・小学生奄美笠利町交流事業等への参加
- ・藤原中と水上中の合同学習

（3）教職員等の人的環境整備

- ア A L Tの適切な配置（小・中学校での英語教育の充実、小・中連携教育）
- イ 特別支援教育に係る補助教員兼支援員・介助員等の適切な配置

（4）小・中学校の適正規模・適正配置の検討

- ・全地区小・中学校対象

（5）第2期教育振興基本計画の策定

II 豊かなスタディ・チャンス

3 生涯学習の振興

(1) 生涯学習体制の整備・充実

- ① 「心豊かな町民」を目指す生涯学習の推進
 - ア 生涯学習推進のための各種企画の創意工夫
 - ・講座、講習、現地研修、文化祭、講演会、諸大会等
 - イ 学習成果発表の場の提供
 - ・文化祭、生涯学習フェスティバル、報告会、優秀選手表彰式等
- ② 生涯学習関連施設の活用
 - ア 町公民館、図書室、カルチャーセンター、歴史民俗資料館等
 - イ 体育関連施設（社会体育、学校体育）等
- ③ 生涯学習指導者の育成・確保
 - ア 指導者、学習ボランティア、コーディネーター、シニアリーダー、団塊世代の活用
- ④ 生涯学習に関する諸情報の提供 学習啓発の推進
- ⑤ 各種施設との広域的ネットワーク体制の構築

(2) 学習機会の提供

- ① 各種町民教養講座・教室等の開催 公民館・カルチャーセンター等
 - ア 受講生拡大の工夫
 - イ 各種団体による講演会や講座の支援
 - ウ 自主グループの育成への支援と助言
 - …子ども歌舞伎、太々神楽、ジュニアオーケストラ、みなかみ牧水会等
- ② 4 図書室の充実
 - ア 図書の充実
 - ・蔵書量の充実
 - ・町民のニーズへの対応
 - イ 読書推進活動
 - ・幅広い年齢層への対応
 - ・読書量、利用者増大への工夫…お話しの会の活動支援
 - ウ 4室データベースの作成
 - エ 広報活動
 - オ 全町図書室運営の充実
 - ・図書室環境の改善・整備

4 社会教育の充実

(1) 社会教育諸条件の整備・充実

- ① 社会教育施設の利用促進
- ② 社会教育関係団体の育成・連携
 - ・子ども会育成会・婦人会・PTA 連合・青少推・スポーツ少年団・老人クラブ
 - ・体育協会・文化協会等
- ③ 人権教育の充実 子育て健康課・町民福祉課との連携
 - ア 人権学習 正しい認識形成と啓発
 - ・社会教育委員の研修・講演会・家庭教育学級での学習会

- ・人権擁護委員会との連携・活動
- イ 人権啓発活動
 - ・人権ポスター・作文、「家族のきずな」エッセイの募集・表彰
 - ・講演会（町民福祉課、子育て健康課と連携）
 - ・小・中学校における人権学習

（2）青少年教育の充実

3 子育て支援の充実

- ① 青少年育成活動の充実
 - ア 子ども会の育成
 - イ 青少年育成指導者の育成 月夜野キッズセンター
- ② 青少年活動の充実
 - ア 学校外活動（青少年育成事業）の推進
 - ・放課後子ども教室 ・おもしろ科学教室 ・奄美市笠利町交流事業等
 - イ 地域行事参加による体験・交流
 - ・かるた大会・**地域清掃活動**・子ども会スポーツ大会・**地域行事**・**あいさつ運動**
- ③ 子ども活動に関する諸事業の推進・充実
 - ・ガールスカウト・スポーツ少年団

（3）青少年健全育成

- ① 青少年健全育成団体相互の連携と協力 学社連携・融合の推進
 - ・みなかみ町健全育成会議の創設と諸活動
 - ・あいさつ運動と地域環境の美化活動の展開
- ② 体験活動の推進
 - ・週末等における体験教室の推進
（月夜野キッズセンターによる体験教室、ものづくり教室）
- ③ 青少年健全育成活動の充実と非行防止
 - ・パトロール・啓発活動（ポスター・標語の配付）
- ④ 有害環境浄化活動の推進
 - ・ケータイ・ゲーム機に関する問題の未然防止
 - ・社会環境実態調査
 - ・児童・生徒の問題行動の未然防止

（4）家庭教育の充実

- ① 時期に応じた家庭教育の充実
 - ・子育て講座（・就学時子育て講座・思春期子育て講座）
 - ※ 町民福祉課子育てセミナー
 - ・子育て支援… 放課後子ども教室の充実
6 小学校子ども教室運営への支援
 - ・基本的生活習慣の確立
- ② P T A活動の充実
 - ・P T Aの連携活動（P T A連合）・共通課題の解決への努力
- ③ 自主活動への支援
 - ・諸団体の活動
 - ・地域活動への参加

5 文化の振興

27 生涯学習の推進

(1) 芸術文化活動の推進

- ① 文化施設の充実
 - ア 公民館・カルチャーセンター等の運営の充実
- ② 文化活動推進体制の充実
 - ア 文化振興事業の支援・発信
 - イ 町民とアーティストの交流による文化振興・・・東京劇団”風”との交流
 - ウ 文化活動に関する広報・啓発活動
- ③ 文化活動の促進
 - ア 各文化団体の活動計画の把握と促進
 - イ 地域文化の伝統継承の支援
 - ウ 後継者不足の課題解決への研究（文化団体、NPOの育成支援）
 - ・文化振興補助金等の活用 活動機会の促進
 - エ 町文化祭への参加と充実

(2) 文化財保護と普及活動

29 文化財の保存と活用

- ① 郷土愛の育成と次世代への継承
- ② 指定文化財整備の充実と矢瀬遺跡・水上石器時代住居跡・名胡桃城趾の活用
- ③ 文化財調査・保護の実施
 - ・文化財調査委員会の活動の充実
- ④ 町内文化財の点検と文化財リストの作成
- ⑤ 文化財の展示施設等の検討と整備 歴史を活かした街づくり事業（観光課）
- ⑥ 文化財を活かした学習の推進と郷土愛の醸成
 - ・小・中学校の学習への利用促進 ガイドの会との連携

6 スポーツ活動の充実

28 生涯スポーツの推進

(1) 指導体制の充実

- ① みなかみ町スポーツ推進計画による生涯スポーツの推進
 - ・マスタープランの見直しの実施
- ② 指導体制の充実
 - ア スポーツ推進委員の有効活用
 - ・全町民生涯スポーツ推進のための計画的活動
 - イ 社会体育指導者の育成・活用
- ③ スポーツ団体等の育成と指導者の養成
 - ・指導者研修会の開催、スポーツ少年母集団の研修会開催
- ④ スポーツ情報提供・相談体制の整備 体育協会による広報の発行
- ⑤ スポーツ施設・設備の整備・充実・・・社会体育施設の耐震化及び調査・研究

(2) スポーツ活動の充実

- ① 生涯スポーツ活動の振興
 - ア 町民体育祭を核とするスポーツ振興
 - イ 総合型地域スポーツクラブ(NPO法人みなかみスポーツクラブ)の育成・支援
 - ウ ニュースポーツ、軽スポーツの啓発・普及と活動
 - ・ノルディックウォーク・スポーツ吹矢

- エ スポーツ企業との連携
- オ みなかみ源流大学との連携
- ② 競技スポーツの振興
 - ア 優秀選手・指導者の表彰
 - イ 各種選手強化対策の推進
 - ウ 競技スポーツの指導者の育成
 - エ 体育協会の活動の充実
 - ☆体協6つのテーマ
 - ・町民の体育振興に関する調査研究
 - ・体育に関する講習会・研修会の開催
 - ・各種競技大会・教室の開催
 - ・各種スポーツ競技団体の結成及び育成
 - ・スポーツ少年団の育成
 - ・その他の大会の目的達成に必要な事項に関すること
 - オ スポーツ企業との連携

3. 教育委員会会議・教育委員の 活動状況

1 教育委員会会議・教育委員の活動状況

●みなかみ町教育委員名簿

平成29年 4月 1日 現在

職名	氏名	委員就任日	役職就任日	任期
教育長	増田 郁夫	H27. 4. 1	H27. 4. 1	H30. 3.31
教育長職務代理者	利根川太郎	H25.11.26	H29. 4. 1	H29.11.25
委員	鈴木 長善	H25.11.26		H29.11.25
委員	阿部 剛	H27.11.26		H30. 3.31
委員	根津 公安	H28.11.26		H31. 3.31

●平成29年度教育委員会会議(定例会・臨時会)の開催状況

教育委員会の会議は原則6月、9月、11月、3月の年4回開催される定例会と必要に応じ開催される臨時会があり、以下のとおり開催し審議されました。

(平成29年4月～平成30年3月まで)

開催日	区分	議案・報告等
(平成29年) 5月26日	定例会	議案第 1 号 文化財指定及び指定解除について 議案第 2 号 みなかみ町文化協会活動費補助金交付要綱の制定について 議案第 3 号 平成29年度準要保護児童生徒就学援助費補助金の認定について 報告第 1 号 指定学校変更について 報告第 2 号 みなかみ町社会教育委員の委嘱について (協 議) ①中学生海外派遣事業について ②奄美市笠利町との交流事業について
7月14日	臨時会	議案第 4 号 平成30年度使用教科用図書の採択について 議案第 5 号

		平成29年度準要保護児童生徒就学援助費補助金の認定について
8月30日	定例会	議案第 6 号 9月補正予算について 議案第 7 号 平成29年度みなかみ町立小中学校教員用パソコン機器等購入契約の締結について (協議) ①町内園・小・中運動会の来賓割り振りについて ②夏休み中の児童・生徒の様子について ③第12回町民体育祭について ④月夜野中学校ナイター設備設置工事について ⑤中学生海外派遣事業(タイ・カンボジア)について ⑥奄美市笠利町との交流事業について ⑦生涯学習フェスティバルについて
9月25日	臨時会	議案第 8 号 平成29年度準要保護児童生徒就学援助費補助金の認定について 議案第 9 号 平成29年度末利根沼田地区教職員人事に関する基本方針について
10月19日	臨時会	議案第10号 教育委員会教育長の辞職の同意について
11月28日	定例会	議案第11号 みなかみ町立学校施設使用条例の一部改正について 議案第12号 平成29年度みなかみ町スクールバス購入契約の締結について (協議) ①中学生議会について ②その他
(平成30年) 1月29日	臨時会	議案第13号 平成29年度準要保護児童生徒就学援助費補助金の認定について
2月22日	定例会	議案第14号 みなかみ町公民館条例施行規則の一部改正について 議案第15号 みなかみ町公民館図書室規則の一部改正について

		<p>議案第16号 みなかみ町体育施設条例施行規則の一部改正について</p> <p>議案第17号 みなかみ町新治B&G海洋センター条例施行規則の一部改正について</p> <p>議案第18号 みなかみ町新治B&G海洋センターミニ艇庫条例施行規則の一部改正について</p> <p>議案第19号 みなかみ町立学校施設使用条例施行規則の一部改正について</p> <p>議案第20号 みなかみ町歴史民俗資料館等条例施行規則の一部改正について</p> <p>議案第21号 教育財産の取得について</p> <p>議案第22号 学校給食費の決定について</p> <p>議案第23号 平成29年度みなかみ町一般会計予算3月補正予算(案)について</p> <p>議案第24号 平成30年度みなかみ町一般会計予算(案)について</p> <p>議案第25号 平成30年度みなかみ町教育行政方針(案)について</p> <p>報告第3号 区域外就学について</p> <p>(協 議)</p> <p>①教職員の多忙化解消に向けた取り組みについて</p> <p>②奄美市笠利町との青少年交流事業について</p> <p>③中学生海外派遣事業(台南市)について</p> <p>④小・中・こども園の卒業(園)式、入学(園)式について</p> <p>⑤グラウンドゴルフ場の整備について</p> <p>⑥総合グラウンドトイレ・更衣室の建設について</p> <p>⑦その他</p>
3月15日	臨時会	<p>議案第26号 平成29年度末教職員人事異動について</p> <p>議案第27号 みなかみ町スポーツ推進計画の見直しについて</p>

3月27日	臨時会	議案第28号 みなかみ町教育委員会事務局等の組織及び事務処理規則の一部改正について
-------	-----	--

(平成29年4月～平成30年3月)

区 分	回 数	議案件数	協議件数	報告件数	選挙回数	教育長事務報告
定例会	4	19	18	3		4
臨時会	6	9	0	0		

● 29年度総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正(平成27年4月1日施行)に伴い、町長と教育委員が構成員となり、相互の十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有するため総合教育会議が設置されました。

総合教育会議において、町長は教育委員と協議して、教育に関する総合的な施策の大綱を策定するとともに、教育に関する重点的な施策について協議することとなっています。

28年度には以下のとおり開催され、協議を行いました。

開催日	案件等
(平成29年) 7月14日	1. 管内小中学校の適正規模・適正配置について 2. その他
(平成30年) 1月29日	1. 管内小中学校の適正規模・適正配置について 2. その他

●教育長・教育委員の活動

教育委員会は、定例会以外に各種研修会及び教育委員会主催の行事に参加しています。また、各小中学校へも学校訪問をして教育環境の整備や体制づくりに努めています。

(平成29年4月～平成30年3月まで)

期 日	行 事 内 容
4月 3日	教職員辞令交付式
7日	小・中学校入学式

10日	利根商業高等学校入学式
11日	三国会運営委員会
12日	町婦人会総会
13日	教育長・校長合同研究協議会　へきセン入所式・理事会
14日	小・中学校教職員離任式
15日	利根沼田青少年サッカー大会
18日	町体育協会総会
19日	町文化協会総会
20日	町スポーツ推進員会議
22日	北毛地区還暦野球大会開会式
24日	第1回教育委員会訪問　地区人事総括会議
25日	教育委員会協議会
27日	郡小中学校教育研究会総会
28日	町体育協会総会
5月　2日	三国会総会
6日	利根商業高等学校多目的グラウンド竣工式
15日	デザート藤原湖マラソン実行委員会　利根郡体育協会総会
16日	新治中学校訪問
17日	子ども教室第1回運営委員会
23日	中学生海外派遣推進委員会
24日	桃野小学校訪問　県市町村教育長協議会　利根沼田教育長会
26日	教育委員会(定例会)
27日	みなかみ町芸術の町づくり実行委員会総会
29日	社会教育委員会
30日	古馬牧小学校訪問　ユネスコエコパーク協議会　町俳句大会表彰式
6月　1日	中学生海外派遣事業(タイ・カンボジア)事前説明会
6日	教育委員会訪問(生涯学習)　三国会運営委員会
9日	水上中学校訪問
12日	月夜野北小学校訪問
18日	国体関東ブロックカヌー大会　ユネスコエコパーク報告会　水上音楽祭
19日	教育長会議
20日	利根郡町村教育委員会総会
21日	月夜野中学校訪問　中学生海外派遣事業事前学習会
24日	群馬県小学校総体ホッケー大会
27日	学校警察連絡協議会役員会・総会
28日	第1回町学校保健委員会
30日	県へき地教育振興会総会　中学生海外派遣事業事前学習会
7月　1日	利根川源流賛歌を歌う会

	4日	県教育長会議
	6日	給食センター運営委員会 教科書採択協議会
	7日	県町村教育長研修会
	10日	社会教育委員会会議
	11日	教育支援委員会 奄美大島交流事業参加者説明会
	12日	叙勲伝達式 中学生海外派遣事業(タイ・カンボジア)事前学習会
	14日	総合教育会議 教育委員会(臨時会) 教育長会議
	21日	中学生海外派遣(タイ・カンボジア)壮行会
	27日	教育支援委員会全体会
	28日	群馬県中学校総合体育大会開会式 小学生水泳記録会
	30日	水上石器時代住居跡シンポジウム
8月	1日	中学生海外派遣(タイ・カンボジア)出発式
	3日~	奄美青少年交流事業
	7日	
	8日	みなかみ町花火大会実行委員会
	9日	知的障害者福祉協会夏期特別講座
	10日	青少年赤十字協議会
	11日	みなかみ源流大学協議会
	16日	みなかみ町花火大会
	18日	国体関東ブロック開会式
	20日	デザート藤原湖マラソン大会
	23日	叙勲伝達式
	24日	社会教育委員会会議
	26日	少年の主張利根沼田地区大会
	30日	教育委員会(定例会) 少子化運営委員会
9月	5日	福祉パレード
	6日	町民体育祭抽選会
	9日	中学校運動会
	10日	三国館音楽会
	11日	町民グランドゴルフ大会
	15日	ゲートボール選手権大会
	16日	小学校運動会
	18日	名胡桃城シンポジウム
	20日	利根沼田地区人事会議
	23日	茂左衛門弓道大会
	24日	町民体育祭
	25日	教育委員会(臨時会)
	27日	利根沼田地区人事会議
	28日	北毛地区中学校校長会研究協議会少子化分科会
10月	2日	教育長・校長合同協議会

	3日	エコパーク登録記念式典 社会教育委員会
	5日	家族の絆エッセイ審査会
	11日	史跡整備市町村協議会
	12日	郡市小学校陸上記録会
	14日	生涯学習フェスティバル 人権に関するポスター審査
	19日	教育委員会(臨時会)
	21日	防火ポスターコンクール表彰式
	23日	利根沼田地区学校警察連絡協議会役員会 県民体育大会結団式
	24日	郡市合同移動校長協議会 利根沼田教育長連絡協議会
	25日	中学生海外派遣報告会
	26日	平和式典戦没者追悼式
	29日	福祉ポスター・作文フェスティバル
11月	2日	中学生海外派遣事業(台南市)保護者説明会
	3日	文化祭開会式
	8日	県市町村教育長協議会 市町村教育長人事会議 中学生海外派遣事業(台南市)事前学習会
	9日	中学生海外派遣事業(タイ・カンボジア)事後研修会
	11日	新治小学校創立10周年記念式典
	14日	中学生海外派遣(台南)事前学習会
	15日	叙勲伝達式
	16日	中学生海外派遣事業(タイ・カンボジア)報告会
	18日	若山牧水みなかみ紀行短歌大会・表彰式
	22日	中学生海外派遣(台南)事前学習会
	27日	教育委員辞令交付式
	28日	教育委員会(定例会)
12月	1日	中学生海外派遣事業(台南市)事前学習会
	9日	人権ポスター表彰式
	24日	中学生海外派遣事業(台南市)出発式
1月	7日	成人式
	9日	利根沼田地区人事会議
	10日	利根教育事務所人事ヒアリング
	11日	県町村教育長・教育委員会合同研修会
	14日	中体連スキー大会開会式
	18日	利根沼田地区人事会議
	22日	藤原区民・小中学校親睦スキー大会
	24日	県市町村教育長人事会議
	29日	総合教育会議 教育委員会(臨時会)
	31日	へきセン反省会・理事会
2月	3日	みなかみ町環境学習発表会
	9日	奄美市笠利町交流会歓迎式

13日	利根沼田地区人事会議
14日	利根沼田地区人事会議 縣市町村教育長協議会
15日	給食運営委員会
19日	社会教育委員会
20日	教育委員会訪問
21日	利根沼田地区地区人事会議 へきセン発表会・修了式
22日	教育委員会(定例会) 教育委員協議会
23日	群馬県高校体育連盟創立70周年記念式典及び祝賀会
3月 1日	利根沼田地区人事会議
13日	中学校卒業式 教育長・教育委員合同会議
15日	教育委員会(臨時会)
23日	小学校卒業式
27日	教育委員会(臨時会)
30日	教職員退職者辞令交付式

4. 教育委員会各事業

総務・学校グループ

施策マネジメントシート(平成29年度の振り返り、総括)

作成日 平成 30 年 6 月 21 日

基本目標	V	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称 教育課
				課長 杉木 隆司
施策	26	学校教育の充実	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
	①町内の児童生徒	①豊かな心と高い知性、健康な身体をもとに活力ある人間に育つ。	基本事業	1 教育水準の向上	町内の児童生徒
2 教育内容の充実				町内の児童生徒	内容の充実した教育を受けられる。
3 教育環境の充実				町内の児童生徒	安全な環境で安心して学ぶことができる。
4					
5					

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	学力テストの結果(児童/生徒)	%	実績値	81/81	80/80	76/80	79/83	82/81	83/82
			目標値		81/81	81/81	81/81	81/81	81/81	81/81
B	体力テストの結果(児童/生徒)	ポイント	実績値	50/50	50/50	50/50	50/50	50/52	50/50	51/49
			目標値		50/50	50/50	50/50	50/50	50/50	50/50
C	学校が楽しいと感じている児童生徒の割合	%	実績値	92/87	90/90	90/90	92/88	90/90	90/90	83/87
			目標値		92/87	92/87	92/87	92/87	92/87	92/87
D	不登校児童生徒数	人	実績値	18	12	12	17	21	18	17
			目標値		10	10	10	10	10	10
E			実績値							
			目標値							
F			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法

A) 結果がよければ、高い知性が育まれていると考えられるため成果指標とした。また、群馬県内や全国において採用率が高いため信憑性が高い。小2～中3まで、1学期期間中に全員対象で実施するNRTテストで、学習到達度5段階中3以上(概ね学習内容を理解している)の児童(生徒)の数/児童(生徒)を百分率で表記したもの。

B) 結果がよければ、健康な身体が育まれていると考えられるため、成果指標とした。また、群馬県内や全国において採用率が高いため比較がしやすい。全学年を対象に1学期期間に実施している新体力スポーツテストで、全国の標準を50ポイントとし、全国比で表わす。

C) 数値が高まれば、豊かな心・高い知性・健康な身体が育まれ健全に成長していると考えられるため成果指標とした。学校評価のアンケートに設問を設けて把握する。各校で実施している調査の年平均を合算して平均する。

D) 数値が低ければ、豊かな心・高い知性・健康な身体が育まれていると考えられるため成果指標とした。担当課で実数を把握「児童生徒の問題行動等に関する月例報告書」による

目標値設定の考え方

A) 児童生徒数の減少により、学校や学級の適正規模の維持が困難となり、学力の低下も見込まれる。成り行きでは緩やかに低下傾向にあり、向上のため対策が必要である。補助教員や支援員・介助員の拡充、町独自の指導主事の設置など、他団体と比較して水準が高いため、更に成果を上昇させるにはより一層の取り組みが必要。よって、児童・生徒の学力は、現状の81%を維持することを目標とする(ワンポイントアップ作戦)。

B) 学校統合に伴いスクールバスを導入したことで、これまで徒歩通学であった児童・生徒(新治小・水上小)の体力の低下が懸念される。体力づくりでは、管内小中学校がそれぞれ特色有る取り組みを進めており、利根沼田地区の駅伝大会などでは、みなかみ町が上位を占めている。家庭での体力づくりは、環境によって異なるため、学校での取り組みを強化するなど、全体的な体力向上を図り、現状維持(平均値である50)を目指す。

C) 学校が楽しいと感じている児童・生徒の割合は、平成24年度においても高い水準にある。今後、児童生徒数が減少し学校や学級の適正規模を維持できなくなることを考えると、割合は低下すると予想される。小学校では嘱託職員(若い教員)をほぼ全校に配置しているため、成り行き値は急激には下がらない。平成24年度実績を維持することを目標とする。

D) 学校生活での人間関係や学習意欲・家庭環境など、不登校傾向につながる要因は多岐にわたるため、今後も、学校・家庭・関係機関が連携して、不登校児童生徒を増やさない取り組みを強化していく必要がある。児童生徒数は減少する見込みで成り行きでも絶対数は減少。目標値は10人以下を目指しており、毎年度10人以下を達成させたい。

施策のための目的・役割分担	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	<p><家庭・保護者></p> <p>①家庭では子ども達の心身の健康を育み、基本的な生活習慣や善悪の判断等規範意識の基礎をつくる。</p> <p>②保護者としての自覚を持ち、社会的な義務を果たす。</p> <p><地域住民></p> <p>①「地域の子どもは地域で育てる」という意識をもち、子ども達が安心して活動できる地域づくりを進める。</p> <p>②地域の人材として学校現場へ積極的に関わるなど、教育活動へ協力する。</p>	<p>①教育の基本方針を策定する。</p> <p>②児童生徒の個に応じた教育環境をつくる。</p> <p>③児童生徒が安心して学習できる安全な環境をつくる。</p> <p>④教員の教育力や資質の向上を図る。</p>

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	<p>①地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が、平成27年4月1日から施行される。教育委員会制度の見直し。</p> <p>②インクルーシブ教育の導入が議論されている。</p> <p>③食物アレルギーを持つ児童生徒が増加する傾向にあり、多種多様化している。</p> <p>④少子化により、児童・生徒数が更に減少することが予想され、それに伴い集団学習や集団活動の実施に制約を生じている。</p> <p>⑤いじめ対策推進法が平成25年9月に施行され、平成29年3月に、いじめ防止等のための国の基本方針が改定された。(いじめの認知等)</p> <p>⑥学習指導要領の改定により、平成30年度より道徳、平成32年度より小学校の英語が教科化され、併せて小学校3・4年生より外国語活動が導入される。また、新たにプログラミング教育が導入される。</p> <p>⑦ユネスコエコパーク登録に伴い、環境学習の継続・発展の推進を図る必要がある。</p> <p>⑧教職員の多忙化解消に向けた取組が提言された。(県教育長あて)</p>	<p>①教育施設の整備について、耐震改修終了しているが、校舎や体育館等の老朽化に対応した整備等が求められている。</p> <p>②不登校等の問題行動については増加傾向にあり、議会等においても、早期対応等の取組等求められており、関心の高さがうかがえる。</p> <p>③特別支援教育に対する意見や要望が多岐にわたっており、対象児童生徒の増加と関心の高さがうかがえる。</p> <p>④部活動等の課外活動も含め、少子化に対応した小中学校の教育環境整備が求められている。</p>

施策	26	学校教育の充実	主管課	名称	教育課
				課長	杉木 隆司

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	①時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。	<p>①学力テストの結果では、学習到達度5段階中3以上(概ね学習内容を理解している)の割合は、小学生で80%、中学生で81%となり、昨年度と比較すると小学生3ポイント、中学生は1ポイント下がった。教科総合の偏差値は、小学校51.8、中学校52.0となり、昨年度と比較すると小学生0.5ポイント、中学生は0.3ポイント下がった。</p> <p>②体力テストでは、小学生で51ポイント(男子50.5、女子50.7)、中学生で49ポイント(男子46.8、女子51.1)となり、昨年度と比較すると小学生は1ポイント上がったが、中学生は1ポイント下がった。</p> <p>③学校が楽しいと感じている児童生徒の割合は、小学生で83%、中学生で87%となり、昨年度と比較し小学生7ポイント、中学生は3ポイント下がった。主な要因は、学校評価のアンケートから全国学習状況調査へ変更したことが考えられる。</p> <p>④不登校児童生徒(30日以上欠席)の数は、17人と昨年度より1名減少した。適応指導教室(リエントリールーム)の開設と併せて、各学校の教職員による家庭訪問の実施、スクールカウンセラーによる面談及び不登校対策委員会における情報の共有化などの取り組みを行った。</p>
		<input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。	
	<input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態)		
<input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。			
	<input type="checkbox"/> かなり低下した。		
②他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。	<p>①少人数指導体制など群馬県独自の取り組みを実施するとともに、平成23年度から導入している町独自の教育補助員事業を継続していることにより、比較的高い水準にある。(偏差値50を全国平均とと比較した場合、小学校51.8、中学校52.0)</p> <p>②体力テストの結果は、中学生男子が全国平均(全国平均値を50としと比較した結果)を下回ったが、中学生男子以外は、朝活動など各学校の取り組みにより、全国平均を上回った。</p> <p>③学校が楽しいと感じている児童生徒の全国の割合は、小学校で86%、中学生で81%となっており、比較するとみなかみ町の小学生は全国平均より3ポイント低く、中学生では6ポイント高い結果となった。</p> <p>④不登校児童生徒(30日以上欠席)の数は昨年度と比較して、1名減少し17人となっている。</p> <p>みなかみ町の不登校児童生徒数の割合は、小学校0.14%、中学校3.7%、全国の不登校児童生徒数の割合は、小学校0.48%、中学校3.01%(平成28年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」)。比較すると小学生では0.34ポイント低いが、中学生は0.69ポイント高かった。</p>	
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である。		
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。		
	<input type="checkbox"/> かなり低い水準である。		
③目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。	<p>①学力テストの結果は、小学生・中学生ともに目標値とほぼ同水準だった。</p> <p>②体力テストの結果は、小学生・中学生ともに目標値とほぼ同水準だった。</p> <p>③学校が楽しいと感じている児童生徒の割合は、目標値を下回った。</p> <p>④不登校児童生徒(30日以上欠席)の数は17人と昨年度より1名減となったが目標を下回っている。適応指導教室(リエントリールーム)に通級しながら、保健室登校や別室登校へ移行するなど、学校と家庭と教育委員会との連携、スクールカウンセラーの活用、不登校傾向の児童生徒への早期対応などの取り組みを継続している。</p>	
	<input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。		
	<input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。		
	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。		

成果実績に対する取り組みの総括	<教育水準の向上>	
	①県費教職員人事に関する事務事業は、県教育事務所と協議を行い定数を超える教職員数を配置(特配)した。	
	②教育補助員事業として、町職員1名、補助教員兼支援員(嘱託)5名、支援員(臨時)1名、介助員(臨時)4名、計11名を配置し、支援を必要とする児童生徒に対応した。	
	③中央公民館内に開設している適応指導教室(リエントリールーム)に専任指導員(嘱託)1名を配置し、不登校児童生徒の所属校への復帰を支援した。	
④小学校の英語教育の必修化に伴い、ALTを4名配置し訪問指導を行った。		
⑤総合教育会議を開催し、管内小中学校の適正規模・適正配置について協議を重ねた。		
<教育内容の充実>		
①教育委員会事業:教育委員が指導主事と一緒に各校の授業参観、学校訪問を行い、助言をすることが各校の教育活動の充実に結びついている。		
②町費で指導主事を配置し、各学校・子ども園の相談等に対して指導主事を派遣して対応した。		
③三国会(小中学校教育研究会)の授業研究会において、利根教育事務所・指導主事の指導助言を受けながら、基礎基本を定着させる授業のための研修を行った。		
④中学生海外派遣事業として、中学2年生15名が8月にタイ王国・カンボジア王国の研修を行った。中学1年生34名が12月に台湾:台南市の研修を行った。		
<教育環境の充実>		
①スクールバスの計画的な更新を行った。(29人乗り1台:月夜野地区)		
②各小中学校施設の修繕を行うとともに、校庭その他の植栽について、緊急性のある案件から伐採や剪定を行った。		
③小中学校の情報教育を充実するため、パソコンなどのIT機器を計画的に導入した。		
④月夜野中学校の多目的トイレ(洋式化)の整備を行った。		
⑤月夜野給食センターにアレルギー室を設置した。		

今後の課題と取り組み(案)	基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
	1 教育水準の向上	①みなかみ町公立学校の教育環境整備について、適正規模を考慮した学校の再配置に向けた実施計画を作成する必要がある。併せて、保護者説明会等を随時実施していく必要がある。	<p>①みなかみ町における望ましい学校の配置(統合・再編)に向けた具体的な計画を作成し、事業実施にあたって関係者と連携を図り推進する。</p> <p>②学習指導要領の見直しにより、平成31年度より中学校において道徳は「特別の教科」道徳科となるため、県と連携し、授業研究等を行い、教員の資質向上に努め、共通理解と連携を図る。また、ICT機器等の効果的な活用に向けた研修を行う。教職員の勤務状況を把握し、事務の効率化を支援する。</p> <p>③人材確保のため、補助教員・教育支援員・介助員等の登録制度を検討する。</p>
		②学習指導要領の改正により、実施までの準備・指導のポイントなど共通理解を深めるとともに、必要な教育環境を整備するとともに、教職員の多忙化解消、業務削減に取り組む必要がある。	
	2 教育内容の充実	③質の高い、きめ細かな教育を実践するためには、特別支援教育に携わる補助教員や支援員・介助員の拡充が求められる。	<p>④ユネスコエコパーク登録に伴い、現在各学校で取り組んでいる環境学習を更に推進し、「持続可能な開発のための教育」の推進拠点としてユネスコスクールへの登録へ向けた支援が必要となっている。</p> <p>⑤全国的に児童生徒の体力の低下が懸念されているため、体力づくりに係わる各学校での継続した取り組みが必要である。</p> <p>⑥基本的な生活習慣が身に付いていない児童生徒が増えており、より一層の家庭との連携が必要となっている。</p>
④全国的に児童生徒の体力の低下が懸念されているため、体力づくりに係わる各学校での継続した取り組みが必要である。			
3 教育環境の充実	⑤基本的な生活習慣が身に付いていない児童生徒が増えており、より一層の家庭との連携が必要となっている。	<p>①基礎・基本を定着させる授業や自ら学ぶ意欲を育む授業を実践するため、引き続き「みなかみ町教育研究会(三国会)」が実施する教職員の研究授業や研修を充実させる。</p> <p>②ユネスコスクールの登録数を増やすための支援を行う。</p> <p>③朝活動や放課後活動など、体力づくりに係わる各学校での取り組みを継続する。</p> <p>④家庭や地域との連携を図りながら、子どもたちの心身の健康を育み、基本的な生活習慣や善悪の判断等規範意識の基礎をつくる。</p>	
	⑥基本的な生活習慣が身に付いていない児童生徒が増えており、より一層の家庭との連携が必要となっている。		
	①登下校の交通安全は、全国的にも喫緊の課題であり、学校や関係機関と連携しながら、危険箇所の計画的な改良を進める必要がある。また、「地域で児童生徒を見守る」活動について、地域ボランティアの活動をより推進していく必要がある。	<p>①沼田警察署・国土交通省高崎河川国道事務所沼田維持修繕出張所・群馬県沼田土木事務所・町地域整備課・町総務課・校長会・教頭会・PTA等連合会・教育委員会による「みなかみ町交通安全推進会議」において、通学路の安全点検に基づいた、安全確保を行う。また、新たな見守り組織の育成を図る。</p> <p>②学校施設点検や修繕計画により、学校の校舎・トイレ・体育館・校庭および、給食センターの設備等の改修を行う。</p>	
	②管内小中学校や給食センターなどの施設・設備が老朽化しており、計画的な修繕や改修が必要となってきている。		

26_学校教育の充実

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 2 日更新)

事務事業	000001	教育委員会運営事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	833,175 円	
施策体系	施策	26	学校教育の充実			みなかみ町の教育行政や学校運営をつかさどる行政委員会	定例会の他に重要な案件に対しては、その都度教育委員会協議会を開催した。	事業実績		
	基本事業	01	教育水準の向上					委員会開催回数		
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	1	目	1
	H	~						7	10	回
総務・学校 G						教育委員会の意向を反映していくためには、教育委員が地域住民の意向を把握することが重要であり、把握のための工夫や、学校教育機関へ訪問し状況を把握したり、PTAや学校関係以外の団体等意見交換も必要。				
継続										

平成 29 年 7 月 28 日作成 (平成 30 年 7 月 2 日更新)

事務事業	000002	事務局一般管理事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,599,337 円	
施策体系	施策	26	学校教育の充実			事務用品、印刷機使用料など円滑な教育委員会事務局業務を遂行するために現状を把握し、不足等がないように手配する。	校長会、教頭会及び事務担当者の時に共通理解を図るため依頼手順等の確認をしている。	事業実績		
	基本事業	01	教育水準の向上					決算額		
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	1	目	2
	H	~						4,049	3,599	千円
総務・学校 G						総務学校Gが教育課全体を一括で予算化しているため、用紙等の消耗品費等の予算把握が難しい。				
継続										

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000003	小中学校教育研究会(三国会)事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	450,000 円	
施策体系	施策	26	学校教育の充実			みなかみ町の教育の振興と会員相互の親睦のための事業	各部会における校長先生のリーダーシップがより発揮されるようにしたり、指導的な立場となる教諭を育成するための研修会を開催した。	事業実績		
	基本事業	01	教育水準の向上					学校数(小・中)		
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	1	目	2
	H	~						6・4	6・4	校
総務・学校 G						小学校6校・中学校4校ある町の規模からみて、町指導主事の数不足している。				
継続						次期学習指導要領改訂に向け、授業研究等の充実を図る。				

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000007	学校経営研究・研修事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	118,690 円	
施策体系	施策	26	学校教育の充実			群馬県小学校長会・群馬県中学校長会・群馬県公立学校教頭会		事業実績		
	基本事業	01	教育水準の向上					研修会回数(校長・教頭)		
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	1	目	2
	H	~						6・3	6・3	回
総務・学校 G						課題なし				

26_学校教育の充実

平成 29 年 7 月 28 日作成 (平成 30 年 7 月 2 日更新)

事務事業	000008	学校教育研究・研修事業		① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	305,676 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実	群馬県小学校中学校教育研究会、利根郡へき地教育センター、利根郡小中学校教育研究会音楽部		事業実績			
	基本事業	01	教育水準の向上			学校数(小・中)			
根拠	無	組織	教育 課 総務・学校 G	課長	杉木 隆司	平成28年度	平成29年度	単位	
事業期間	継続事業 H ~ 年間	会計	1 款	10 項	1 目	2	6・4	6・4	校
				② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策				
				課題なし					

平成 29 年 7 月 28 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000009	教育補助員事業		① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	20,966,962 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実	障害を持つ児童生徒が学校活動を行う際に適した支援や介助を行う。就学時健診や就学指導委員会で審議された結果、特別支援を必要とする学校に補助教員兼支援員を配置する。	各学校の状況に応じ、充実した支援ができるよう補助教員兼支援員を配置している。	事業実績			
	基本事業	01	教育水準の向上			・開催数(特別支援教育委員会・特別支援教育連携協議会) ・配置職員数			
根拠	無	組織	教育 課 総務・学校 G	課長	杉木 隆司	平成28年度	平成29年度	単位	
事業期間	継続事業 H ~ 年間	会計	1 款	10 項	1 目	2	5・9	5・8	人
				② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策				
				各学校の状況を的確に把握し、充実した支援ができるよう継続的に配置していく必要がある。	各学校に必要な支援員兼補助教員(教員免許保有)の確保を継続的に行っていく。				

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 6 月 29 日更新)

事務事業	000010	外国語指導助手(ALT)事業		① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	19,796,081 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実	児童生徒が外国語や異文化を理解し、外国人と積極的にコミュニケーションを図れるようになることを目的に、4名のALTを配置し、チームティーチングによる英語指導を行う。	新規ALTと学校を訪問し、各校の担当者と面談を実施し、学校での活動にスムーズに取り組めるようにした。アウトソーシングについて検討し、H30年度から一部実施することになった。	事業実績			
	基本事業	01	教育水準の向上			学校訪問回数(平均)・ALT人数			
根拠	無	組織	教育 課 総務・学校 G	課長	杉木 隆司	平成28年度	平成29年度	単位	
事業期間	継続事業 H ~ 年間	会計	1 款	10 項	1 目	2	小40 中126・4 人	小53 中126・4 人	回・ 人
				② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策				
				各校の英語担当者とコミュニケーションを深め、教職員と共に活動する意識をもてるようにしていく。また、生活サポート等の事務量が多いことが課題である。	ALT向けの研修を実施し、資質の向上を図る。一部アウトソーシングによる事務負担の軽減。				

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000002	適正教育支援事業		① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,172,842 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実	子どもの能力や性格などには個人差があり、早期から教育相談を行えるよう、幼稚園、保育所及び県教委や保健福祉事務所等関係機関の協力を得て、子どもの状況を的確に把握し適切な就学指導を行う。		事業実績			
	基本事業	02	教育内容の充実			就学指導委員会該当数(新就学児童・就学児童生徒)			
根拠	有	組織	教育 課 総務・学校 G	課長	杉木 隆司	平成28年度	平成29年度	単位	
事業期間	継続事業 H ~ 年間	会計	1 款	10 項	1 目	2	12・121	15・170	人
				② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策				
				保護者からの就学相談を受ける人材を育成する必要がある。	継続				

26_学校教育の充実

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000003	特別支援教育推進事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	275,568 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実	教育支援委員会、知能検査、保護者への就学指導、県教委や保健福祉事務所等関係機関との連絡調整、支援ファイル作成、研修・講演会の実施	通級指導教室担当者や特別支援教育コーディネーターと連携を図った。	事業実績			
	基本事業	02				教育内容の充実	3歳以上の幼稚園・保育園児 ・小中学校児童生徒		
根拠	無	組織	教育 課 総務・学校 G	課長 杉木 隆司	継続	平成28年度	平成29年度	単位	
事業期間	継続事業 H ~ 年間	会計	1 款	10 項		1 目	2	316・1,183	315・1,126

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 6 月 29 日更新)

事務事業	000004	特別支援学級就学援助事業(小・中)	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	950,362 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実	特別支援学級に通う児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を補助する。		事業実績			
	基本事業	02				教育内容の充実	受給者数		
根拠	無	組織	教育 課 総務・学校 G	課長 杉木 隆司	課題なし	平成28年度	平成29年度	単位	
事業期間	継続事業 H ~ 年間	会計	1 款	10 項		2 目	1	26	26

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000005	文化活動派遣費補助事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	10,800 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実	音楽祭、コンクール、音楽研究会大会、社会科見学等の小中学校における文化活動を対象にバスの借上りや移動費補助を行う		事業実績			
	基本事業	02				教育内容の充実	補助件数		
根拠	無	組織	教育 課 総務・学校 G	課長 杉木 隆司	継続	平成28年度	平成29年度	単位	
事業期間	継続事業 H ~ 年間	会計	1 款	10 項		1 目	2	2	1

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000006	運動選手派遣費補助事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,449,190 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実	小中学校の運動大会出場に関する派遣費補助を行う。補助金申請事務、補助金の支払い、大会成績の広報などを行う。	小中学校教育研究会(三国会)事業総会への出席をし、内容の把握・状況の確認を行った。	事業実績			
	基本事業	02				教育内容の充実	補助件数		
根拠	無	組織	教育 課 総務・学校 G	課長 杉木 隆司	継続	平成28年度	平成29年度	単位	
事業期間	継続事業 H ~ 年間	会計	1 款	10 項		1 目	2	18	18

26_学校教育の充実

平成 29 年 7 月 28 日作成 (平成 30 年 7 月 2 日更新)

事務事業	000007	中学生海外派遣事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	12,295,948 円	
施策体系	施策	26	学校教育の充実			本町の中学生を対象に海外の異文化を体験させることで、国際的視野の拡大、国際親善・国際理解を深めると共に、自分たちの住むみなかみ町について再確認する機会を与える。	①各中学校長に引率者として参加してもらった。②行程にODA現地視察(パールライン試乗)を追加した。(タイ・カンボジア) ③台南市への派遣事業を実施 ④経済的支援策を実施(台南)	事業実績		
	基本事業	02	教育内容の充実					派遣事業参加生徒		
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	1	目	2
								34	15(タイ・カンボジア) 33(台南市)	人

平成 29 年 8 月 16 日作成 (平成 30 年 7 月 4 日更新)

事務事業	000008	奄美大島青少年交流事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,021,790 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実			奄美市笠利町と、夏と冬で各々が訪れ風土の違いを肌で実感しながらお互いの交流を図り、青少年の健全育成を図る。	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	参加者の数		
	基本事業	02	教育内容の充実						今回定員を超える申込があった。今後も継続して少しでも多くの児童に参加してもらえるよう事業の魅力を再度周知していきたい。		
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	夏、冬とも子ども達が1週間交流事業に関わることが時間の無い子ども達にとって難しくなっている。	継続	平成28年度	平成29年度	単位	
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	5	目	1	
								16	16	人	

平成 29 年 7 月 28 日作成 (平成 30 年 7 月 2 日更新)

事務事業	000009	総合的な学習の時間支援事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	227,680 円	
施策体系	施策	26	学校教育の充実			総合的な学習の時間等において、外部講師を依頼した際にかかる保険、及び谷川岳エコツーリズム登山実施に伴う補助を行う。	外部講師の有効活用を図った。	事業実績		
	基本事業	02	教育内容の充実					児童数・生徒数		
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	他の事業と合わせて、教員の指導方向向上を図ることにより、外部講師の有効活用にもつなげる必要がある。	継続	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	1	目	2
								723・465	694・432	人

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000010	自然学習教室補助事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	26,000 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実			子どもたちに自然や環境について実質的に体験する機会を提供することを目的として、ぐんま昆虫の森やぐんま天文台に訪れて行う自然学習教室の実施に要する経費の一部に対して補助金を交付する。 業務としては、県への補助金申請、学校からの補助申請の受付・支払・実績報告のとりまとめ、県への実績報告を行う	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	参加学校数		
	基本事業	02	教育内容の充実						この事業は県補助金の交付決定を受けることで少しでも学校・保護者の負担を減らすことを目的としている。町からの加算補助金がなく、県の単価が毎年変わるので歳出の変動が多い。		
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	継続	平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	1	目	2	
								2	2	校	

26_学校教育の充実

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000011	尾瀬学校事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	941,372 円	
施策体系	施策	26	学校教育の充実			児童生徒が尾瀬での自然体験学習・事前学習を行い、質の高い環境教育を図る。事業実施小中学校について、事業費(バスの借り上げや現地ガイド料)を県に補助申請し、支払業務を行う。	各学校への事業内容の周知や予算学校ヒアリング時に説明をした。	事業実績		
	基本事業	02	教育内容の充実					参加学校数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	10	項	1	目	2
杉木 隆司						学校の負担がほとんどなく、事業が実施できるため、事業を実施するべき。学校が連絡もなしに人数が増えたり、費用が増えたりするため、各学校への事業や予算の周知が必要。	継続	6	4	校

平成 29 年 7 月 28 日作成 (平成 30 年 7 月 2 日更新)

事務事業	000012	卒業記念品事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	123,200 円	
施策体系	施策	26	学校教育の充実			毎年小・中学校の卒業生に卒業記念品として卒業証書を入れるホルダーを贈呈する。		事業実績		
	基本事業	02	教育内容の充実					卒業記念品数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	10	項	1	目	2
杉木 隆司						各学校から問題となる事項、又変更希望等も伝えられていない。今後も各学校の意見を反映させて継続する。	継続	306	280	冊

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000013	家庭教育支援事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	108,484 円	
施策体系	施策	26	学校教育の充実			小学校に入学する前の就学時健診時と中学校に入学する前の移行学級を活用し、保護者を対象に「子育て講座」を実施し、子育てを行う保護者へ子育てに関する啓発を促す。	日程調整と講演内容をしっかりと協議する。	事業実績		
	基本事業	02	教育内容の充実					講座開催数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	10	項	5	目	1
杉木 隆司						小学校に入学する児童の保護者が聴きたいこと、中学校に入学する保護者が聴きたいこと、ニーズに応えた講師の選定がいつでも課題の一つである。	ニーズの把握のため聴聴者へのアンケート調査及び学校側にはヒアリング調査を行う。	8	8	回

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000014	高等学校総務費負担事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	23,200 円	
施策体系	施策	26	学校教育の充実			定時制教育への支援		事業実績		
	基本事業	02	教育内容の充実					沼田高校定時制生徒数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	10	項	4	目	1
杉木 隆司						課題なし		13	11	人

26_学校教育の充実

平成 29 年 7 月 28 日作成 (平成 30 年 7 月 2 日更新)

事務事業	000001	小学校運営事業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	11,282,552 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		学校教育充実のための学校運営事業。		事業実績			
	基本事業	03	教育環境の充実				学校数			
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			
			総務・学校	G	課長	各校への予算の公平性確保。	継続			
事業期間	継続事業	H ~ 年間	会計	1	款	10	項	2	目	2
							平成28年度	平成29年度	単位	
							6	6	校	

平成 29 年 7 月 28 日作成 (平成 30 年 7 月 2 日更新)

事務事業	000002	中学校運営事業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	18,503,874 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		学校教育充実のための学校運営事業。		事業実績			
	基本事業	03	教育環境の充実				学校数			
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			
			総務・学校	G	課長	各学校への予算の公平性確保。	継続			
事業期間	継続事業	H ~ 年間	会計	1	款	10	項	3	目	2
							平成28年度	平成29年度	単位	
							4	4	校	

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 6 月 25 日更新)

事務事業	000003	月夜野給食センター管理運営事業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	134,217,883 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		小中学校等への給食の提供により、子供たちの心と体を健やかに育み生きていく力をつける。また、正しい食習慣や、健康管理ができるようにすることや、給食活動を通じて家庭・地域の食生活改善に役立つ。	調理機器の業者点検を行い、状況把握。不具合等の優先順位で修理を進めている。次年度に向け買換の計画を立てる。	事業実績			
	基本事業	03	教育環境の充実				1日あたり調理食数			
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			
			総務・学校	G	課長	調理機器の老朽化に伴い故障・修理が増えている。(平成16年移設稼働)	計画以上に修繕が必要となっているので、予算内で出来るものは進め、必要性に応じ補正も考えながら調理機器の管理を継続していく。			
事業期間	継続事業	H ~ 年間	会計	1	款	10	項	7	目	1
							平成28年度	平成29年度	単位	
							1,007	948	食	

平成 29 年 8 月 9 日作成 (平成 30 年 6 月 29 日更新)

事務事業	000004	新治給食センター管理運営事業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	72,964,452 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		新治地区内の小中学校等への給食の提供により、子供たちの心と体を健やかに育み生きていく力を養い、また正しい食習慣を身につけ、自らの健康管理が行えるように指導し、給食活動を通じて家庭・地域の食生活改善に役立っている。	調理機器の状況把握を行い、使用頻度・劣化状況に応じ、計画的に修理・買換を行った。	事業実績			
	基本事業	03	教育環境の充実				1日あたり調理食数			
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			
			総務・学校	G	課長	調理機器の老朽化(平成15年施設稼働時より使用している調理機器が耐用年数を過ぎ、故障修理が増えている。)	引き続き調理機器の修理、買換計画を策定し、予算計上して実施する。また、施設も老朽化しているため併せて点検修理を行っている。			
事業期間	継続事業	H ~ 年間	会計	1	款	10	項	7	目	1
							平成28年度	平成29年度	単位	
							447	425	食	

26_学校教育の充実

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000005	小・中学校IT環境整備事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	6,525,792 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実			館内小・中学校10校の情報環境整備をおこない、パソコン教室や普通教室に安全で快適なインターネット環境を実現する。また、授業準備に必要な職員用パソコンの整備を行う。	計画的なPCとサーバーの導入。H29は北小・水小・藤原小中・水小においてPCとサーバーを導入。	事業実績				
	基本事業	03	教育環境の充実					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	PC台数(児童生徒用・教職員用)		
根拠	有	組織	教育	課	課長	文部科学省の指針に基づき、各教室でタブレット端末を活用できるように、平成32年度までに無線LAN環境を整備する必要がある。win7とwin2008serは平成31年度にサポート期限を迎える。校務支援システムの導入検討。	無線LAN及びタブレットの導入について計画的にすすめる。	平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	継続事業	会計	1	款	10			項	2	目	1	327・223

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000006	藤原小中学校教職員住宅管理運営事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	473,888 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実			へき地の学校に赴任する教職員の通勤負担を解消するため、希望のあった教職員の入退去の管理及び住宅施設の維持管理を行う。	給湯器等の修繕を行った。	事業実績				
	基本事業	03	教育環境の充実					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	入居者数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	経過年数により、老朽化が進んでいる。	継続	平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	継続事業	会計	1	款	10			項	1	目	2	4

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000007	小・中学校施設維持管理事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	6,619,630 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実			管内小中学校の学校では対応が出来ない老朽、破損等に伴う修繕を事務局が主体となって行う。基準として請書、契約書が必要となる高額な修繕を行う。	児童生徒への安全性や授業等を考慮して、優先的な修繕を実施している。(藤原小中プールと部室、桃野小プールなど)	事業実績				
	基本事業	03	教育環境の充実					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	全体の修繕件数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	今後、施設が老朽化していくに修繕必要箇所が増えるものと見込まれる。	優先順位を明確にし、長期的に対応が必要な修繕等は、計画的に予算計上を行い実施していく。	平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	継続事業	会計	1	款	10			項	1	目	2	23

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 6 月 29 日更新)

事務事業	000008	要保護・準要保護児童生徒就学援助費支給事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,231,945 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実			経済的な理由によって就学が困難な児童生徒について、学用品費・給食費など学校にかかる費用の一部を援助する。	学校及び関係機関と連携し、支給前の確認を緊密に行うことで援助費の適正な支給を行った。	事業実績				
	基本事業	03	教育環境の充実					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	受給児童生徒数		
根拠	有	組織	教育	課	課長	学校や関係機関との連携不足により過払い等の事案が発生することがある。	経済的に厳しい家庭が増えてきているので、今後も受給児童生徒数が増える見込まれるため、予算の確保を行う。	平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	継続事業	会計	1	款	10			項	2	目	1	55

26_学校教育の充実

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 6 月 29 日更新)

事務事業	000009	地域学校保健委員会事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	78,007 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実	児童・生徒の体と心がバランスよく発育・成長していくために、学校と家庭、地域の役割と連携の在り方を探る。そのために、各学校の養護教諭等を中心に、研修や情報交換を行う町学校保健委員会を設定する。	事業実績				
	基本事業	03	教育環境の充実		児童数・生徒数				
根拠	無	組織	教育 課 総務・学校 G	課長 杉木 隆司	② 事務事業の課題				
事業期間	継続事業 H ~ 年間	会計	1 款	10 項	1 目	2	課題なし		④ 今後の方針・課題解決策
					平成28年度	平成29年度	単位		
					723・465	694・432	人		
					歯科衛生士を各校に派遣する際に発生する謝金と消耗品費の予算確保を今後も継続して行う。				

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 6 月 29 日更新)

事務事業	000010	児童生徒災害共済保険加入事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	651,055 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実	学校の管理下における児童生徒等の災害共済給付を行う。	事業実績				
	基本事業	03	教育環境の充実		給付件数				
根拠	無	組織	教育 課 総務・学校 G	課長 杉木 隆司	② 事務事業の課題				
事業期間	継続事業 H ~ 年間	会計	1 款	10 項	2 目	1	課題なし		④ 今後の方針・課題解決策
					平成28年度	平成29年度	単位		
					121	111	件		

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 6 月 29 日更新)

事務事業	000011	児童生徒等健康保持増進事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,384,955 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実	学校保健安全法により児童生徒及び教職員の健康診断を行い、心身の健康保持増進を図る。	事業実績				
	基本事業	03	教育環境の充実		受診児童生徒数・受診教職員数				
根拠	無	組織	教育 課 総務・学校 G	課長 杉木 隆司	② 事務事業の課題				
事業期間	継続事業 H ~ 年間	会計	1 款	10 項	1 目	2	課題なし		④ 今後の方針・課題解決策
					平成28年度	平成29年度	単位		
					1,188・35	1,123・38	人		

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 2 日更新)

事務事業	000012	児童生徒非行防止・健全育成事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	28,500 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実	利根沼田地区学校警察連絡協議会	事業実績				
	基本事業	03	教育環境の充実		児童数・生徒数				
根拠	無	組織	教育 課 総務・学校 G	課長 杉木 隆司	② 事務事業の課題				
事業期間	継続事業 H ~ 年間	会計	1 款	10 項	1 目	2	課題なし		④ 今後の方針・課題解決策
					平成28年度	平成29年度	単位		
					717・466	694・432	人		

26_学校教育の充実

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000013	有害サイトアクセス制限事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	777,600 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実	小中学校の児童生徒が使用しているインターネット環境において、不適切な情報にアクセスできないよう監視やアクセス制限をする。	専門的な業者への委託による管理	事業実績			
	基本事業	03	教育環境の充実			不適切なホームページにアクセスした回数(報告数)			
根拠	無	組織	教育 課 総務・学校 G	課長	杉木 隆司	平成28年度 平成29年度 単位			
事業期間	継続事業 H ~ 年間	会計	1 款	10 項	1 目	2	0	0	回
				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	現状どおり、有害情報へのアクセス制限は必要である。			

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000014	遠距離通学費助成事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,283,805 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実	遠距離通学する児童・生徒の保護者の負担を軽減し、義務教育の円滑な運営に資するために、通学費の全部又は一部を補助する。交付対象者については、居住地から学校までの距離が原則として、小学生は4キロ以上、中学生は6キロ以上であり、スクールバスを利用していない児童生徒の保護者。		事業実績			
	基本事業	03	教育環境の充実			遠距離通学児童・生徒数			
根拠	無	組織	教育 課 総務・学校 G	課長	杉木 隆司	平成28年度 平成29年度 単位			
事業期間	継続事業 H ~ 年間	会計	1 款	10 項	1 目	2	60	61	人
				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	今後スクールバス運行、路線バスの問題等の体制が整えば事業の見直しを検討できる。財政上の問題や地域性もありすぐには解決できない。			

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000015	スクールバス管理運営事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	50,394,400 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実	主にみなかみ町の小中学校の児童・生徒及び幼稚園児の通学・通園に利用するバスの運転業務を効果的に運営する。	運行委託の更新(5年)	事業実績			
	基本事業	03	教育環境の充実			バス利用者数			
根拠	無	組織	教育 課 総務・学校 G	課長	杉木 隆司	平成28年度 平成29年度 単位			
事業期間	継続事業 H ~ 年間	会計	1 款	10 項	1 目	2	296	260	人
				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	受託者の業務精度の向上及び同業他社との競争を取り入れる。また担当職員の指導の厳格化と業務効率の新たな手段等の可能性の追求をしていく。			

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000016	スクールバス整備事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	16,558,130 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実	耐用年数を経過し、老朽化したスクールバスを更新整備し、児童・生徒の登下校の安全確保を図る。		事業実績			
	基本事業	03	教育環境の充実			バス整備(更新)台数			
根拠	有	組織	教育 課 総務・学校 G	課長	杉木 隆司	平成28年度 平成29年度 単位			
事業期間	継続事業 H ~ 年間	会計	1 款	10 項	1 目	2	1	1	台
				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	補助事業を活用し購入したバスについては、処分制限期間(6年)の目的外利用が出来ないため、経路変更等は文部科学省への届出が必要となる。 バスについて計画的に更新していく。経路等については、今後必要の応じ協議していく。			

26_学校教育の充実

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000017	地域子ども安心安全・育成協議会活動支援事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	95,050 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実			児童生徒の安全安心な通学を維持するため、地域全体で協力して見守る活動を行う。	通学路マップ、年間行事予定表、月間行事予定表などを地域に配布するなど安心安全な通学を確保するため、協議会で検討を継続していく。熊よけの鈴の配布。	事業実績				
	基本事業	03	教育環境の充実					見守り員、ボランティア人数 ・110番の家				
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	1	目	2	63・77	50・77	人
地域ごとに取り組みに差があり、各学校及び各地域で一定以上の見守り体制等を構築できていない。						協力できる人から、少しずつお願いするなど学校や地域との連携を図る。						

平成 29 年 7 月 28 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000019	利根沼田学校組合(利根商)運営費負担事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,380,000 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実			利根沼田学校組合立利根商業高等学校運営費負担金		事業実績				
	基本事業	03	教育環境の充実					みなかみ町在住生徒数				
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	4	目	1	132	138	人
課題なし												

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000021	小・中学校トイレ改修事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	33,685,200 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実			開校以来、未改修の学校及び洋式便器のない学校を対象に、洋式化、バリアフリー化、多目的トイレの設置等を推進し、教育環境の改善を図る。	月夜野中学校のトイレ改修を実施した。	事業実績				
	基本事業	03	教育環境の充実					トイレ環境が整備されている学校数				
根拠	有	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	1	目	2	5	5	校
既存のスペースで洋式化をしなければならないため、必要スペースの確保が難しくなる。						現況を把握しながら、計画的に整備を行う。						

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000022	小・中学校施設設備の整備充実事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	22,694,040 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実			当事業は破損・劣化箇所を修繕し、児童・生徒・教職員が安全に利用できる施設とするものである。前年度中に把握できる比較的中規模以上の工事等を行う事業である。	・古小樹木伐採 ・水小エレベータ整備 ・北小プール塗装、雨漏り補修 ・新治小グラウンド整備 ・月中防球ネット整備	事業実績				
	基本事業	03	教育環境の充実					環境維持改善のための修繕等件数				
根拠	有	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	期間限定	会計	1	款	10	項	1	目	2	1	6	件
管内小・中学校施設において破損・劣化・消耗等により修繕が必要な箇所が多い。今後、施設が老朽化していくに従い修繕必要箇所が増えるものと見込まれる。						整備計画等を作成し、計画な対応が必要。						

26_学校教育の充実

平成 29 年 9 月 13 日作成 (平成 30 年 6 月 25 日更新)

事務事業		000023	利根沼田学校組合(利根商)地方交付税交付事業				① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	354,641,000 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実				利根沼田学校組合がある本町が、高等学校費算入分の全額を普通交付税として歳入し、負担金として支出する。H28年度より特別交付税(寄宿舎、非常勤職員公務災害)分追加。				事業実績				
	基本事業	03	教育環境の充実								交付金交付回数				
根拠		有	組織	総合戦略	課	課長	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間		H	～	年間	会計	1	款	10	項	4	目	1	5	5	回
								課題なし							

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業		000026	利根沼田学校組合(利根商)教育施設整備補助事業				① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	164,310,400 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実				野球場の整備(防球ネット・ナイター照明・グラウンドの改修)				事業実績				
	基本事業	03	教育環境の充実								整備施設数				
根拠		無	組織	教育	課	課長	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間		H	～	年間	会計	1	款	10	項	4	目	1	1	1	施設
								課題なし							

生涯學習推進室

施策マネジメントシート(平成29年度の振り返り、総括)

作成日 平成 30 年 6 月 21 日

基本目標	V	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称 教育課 課長 杉木 隆司
施策	27	生涯学習の推進	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図	
	①町民	①生涯を通じて自主的に学習する。	基本事業	1 学習意欲の高揚	意欲や関心がない人	生涯学習への意欲や関心を高める。
				2 学習機会の充実	生涯学習に取り組んでいる人、意欲や関心がある人	学習する機会を得られる。
				3 学習環境の整備	生涯学習に取り組んでいる人、意欲や関心がある人	学習する場を確保できる。
				4		
				5		

成果指標	成果指標名		単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	日頃から、生涯学習を行っている町民の割合	%	実績値	35.5	27.4	25.7	23.9	23.9	25.4	28.7
			目標値		35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	
B	文化協会加盟団体登録者数	人	実績値	1,331	1,314	1,207	1,012	1,041	1,024	946	
			目標値		1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	
C	生涯学習施設利用者数 (中央公民館・水上公民館・新治公民館)	人	実績値	13,700	13,865	13,227	13,279	12,244	10,013	8,300	
			目標値		14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	
D			実績値								
			目標値								
E			実績値								
			目標値								
F			実績値								
			目標値								

指標設定の考え方と実績値の把握方法	<p>A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 町民アンケートにより把握 ※あなたは日頃、テーマを持って学習活動に取り組んでいますか。→「ほぼ毎日」、「週に1日以上」、「月に1回程度」、「年に数回程度」と回答した人の割合</p> <p>B) 文化協会登録団体者数(自らの教養を高めるための学習活動を行っている人達)であり、数値が変わらずに推移すれば目標が達成できているといえるため成果指標とした。</p> <p>C) 中央・水上・新治の3公民館で生涯学習のために利用した人数であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。</p>
-------------------	--

目標値設定の考え方	<p>A) 生涯学習を行っている人(文化協会など)には高齢者の割合が高い。若い人の参加が鈍いことを考えると、今後、学習を行っている人の割合が徐々に減少すると想定される。 平成20年度水準(35.0%)を維持し、町民の3人に1人以上が生涯学習を行っている状態をめざす。</p> <p>B) 文化協会加盟者は、高齢者が多く人数も減少傾向である。現状を維持するため各文化団体を支援し町文化祭への参加と充実。また生涯学習活動のきっかけを作る事業を実施し、文化協会に加盟してもらえるような自主活動グループの育成をめざす。</p> <p>C) 施設利用者数は町内教育委員会管理施設で開催されている各教室、講座等の延べ数。</p>
-----------	--

施策のための目的・役割分担	<p>1. 町民(事業所、地域、団体)の役割</p> <p>①生涯学習の必要性を感じ、生きがいとなるような学習活動を行う。 ②学習の楽しさを広め仲間づくりを行うなど、普及啓発に取り組む。 ③指導者となり、さらには後継者を育成する。</p>	<p>2. 行政(町、県、国)の役割</p> <p>①生涯学習の機会の提供や契機づけを行う。 ②生涯学習施設の整備と管理運営を行い、生涯学習を行うための場を提供する。 ③生涯学習を行う人・団体の活動を支援する。</p>
---------------	---	---

施策を取り巻く状況	<p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?</p> <p>①今年度のアンケート結果を見ると生涯学習を行う人の割合は40代が低い結果となっている。 ②生涯学習に関して、今後5年間では法的に大きな変更はない。 ③社会教育委員により報告された町内の図書環境についての提言書を受け、蔵書検索機能の導入及び図書管理システムの一元化の検討。 ④今後、高齢者の利用が増加するためバリアフリー等、利便性の良い施設が必要となる。</p>	<p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <p>①毎年、講座修了後のアンケート等から手軽(初心者向け)に学びたいという声があり、学習講座の開催を希望する声がある。 ②各団体の講習会等開催チラシ配布の依頼や後援等の支援要望がある。文化祭の会場設営では、参加者の高齢化に伴い手伝いを出していただきたいとの要望がある。 ③各図書室について改善要望の声がある。 ④施設によっては、駐車場の確保やバリアフリーが必要という声がある。</p>
-----------	---	--

施策	27	生涯学習の推進	主管課	名称 教育課 課長 杉木 隆司
----	----	---------	-----	--------------------

	実績比較	背景・要因
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較 <input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	<p>①「日頃から生涯学習を行っている町民の割合」を年度比較すると、平成27年度23.9%、平成28年度25.4%、平成29年度28.7%と年々順調に増加してきている。年代別の比較でも全ての年代で前年度を上回っており、徐々に生涯学習フェスティバルやカルチャーセンターだより、生涯学習だよりが町民に活用され、生涯学習への意欲や関心が浸透してきていると考えられる。</p> <p>②文化協会の会員数は、平成27年度に若干増加に転じたが、その後は減少の一途である。文化協会を支えている会員の多くは高齢化が進んでおり、会の活動が困難となる団体が生じている。</p> <p>③年々生涯学習施設の利用者数は減少が続いている。中でも、各公民館は生涯学習活動の拠点として、サークル活動や学習活動等に利用されているが、図書室の環境整備やバリアフリー化など利便性の遅れが減少の一因と考えられる。</p>
	② 他団体との比較 <input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	<p>①町では、公民館事業としての講座やイベントは実施しておらず、生涯学習推進室の企画事業のみである。カルチャーセンターでは、自主事業として「風」による演劇教室を継続実施しているが、参加者が増えない状況がある。</p> <p>②文化協会の活動は近隣市町村と比べ自主的に企画立案し、活動内容【研修会・講習会・後継者育成等】では充実が図られている。しかし、平成29年度郡内の文化協会員数(人口比率)は、全町村で前年数値を下回っており、高齢化等同じ課題を抱えていると考えられる。数値で見ると、みなかみ町 946人(4.8%)、昭和村 428人(5.6%)、川場村362人(10.8%)、片品村367人(8.0%)であり人口比率は郡内で低い位置にある。</p> <p>③生涯学習施設の一つである図書室の無い自治体は、県内35市町村の内みなかみ町を含め12町村である。図書室の1人当たりの蔵書冊数は、みなかみ町 3.4冊、昭和村 2.4冊、川場村 3.7冊、片品村 1.7冊で、郡内では比較的高い位置にある。</p>
	③ 目標の達成状況 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	<p>①アンケートの数値は年々上昇しているが(平成29年度28.7%)、目標値(35%)には達していない。ただ、生涯学習は多種多様であり、個人の意識にもそれぞれのとらえ方に違いがある。学習を行っていると思えている人、あくまでも趣味として楽しんでいる人など様々であり、アンケートだけでは捉えられない部分もあると思われる。</p> <p>②文化協会登録者数は、高齢化が進み、平成29年度は946人まで減少し、目標値の1,320人との乖離値も広がっている。そんな状況の中でも、役員を中心に文化祭や教養講座等自主的な運営がなされている。</p> <p>③公民館利用者数は、計画途中で利用者数の把握方法を変更したことの影響も有り、目標値を大きく下回っている。中でも新治公民館の活用が少ない状況にある。各施設は、サークルの学習活動やキッズセンター、青少年の体験活動等の機会提供や居場所づくりに利用されている。また、減少要因の一つとして、既存施設のバリアフリー化が進んでおらず利便性に欠ける点があげられる。</p>
成果実績に対する取り組みの総括	<p>①文化・社会教育の振興を図るため、公募団体に対して文化振興費補助金 870千円を9団体に交付した。</p> <p>②文化水準の向上、生涯学習への意欲の向上のため文化協会主催で、文化祭を3地区で開催し日頃の学習成果の発表の場を設けた。</p> <p>③社会教育委員会は、主管団体として生涯学習フェスティバルを運営、生涯学習に関する住民の理解向上と取り組みの促進を目的とする「生涯学習だより」に寄稿するなど、積極的に生涯学習施策の振興へ携わり、その結果県下で高い評価を得た。</p> <p>④生涯学習フェスティバルは学びのきっかけ提供や日頃の学習活動の実践発表など、回を重ねるたび内容の精査・創意工夫を凝らし、昨年を100名以上上回る300名の参加を得た。</p> <p>⑤平成30年度「若山牧水全国顕彰大会みなかみ大会」のプレ大会として平成29年度は、若山牧水みなかみ紀行群馬県短歌大会を開催し、本大会に向けた取り組みの参考とした。</p> <p>⑥文化芸術に気軽に親しむ機会の提供を目的に、カルチャーセンター自主事業として、演劇集団「風」による【ジャンスダルク】の上演、町内のコーラスグループによる「みなかみ町合唱祭」を継続して開催した。</p> <p>⑦カルチャーセンター利用者の利便性を考慮し、HPのリニューアル、センターだより発行、会議室のクールシェア実施、図書室の展示棚に工夫を凝らすことで利用者の増加に繋がった。(平成28年 20,190人→平成29年 21,039人 849人増)</p> <p>⑧町内4図書室の利便性向上のため、担当職員で検討会を実施し方向性を検討した。</p>	

	基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
今後の課題と取り組み(案)	1 学習意欲の高揚	<p>①引き続き、生涯学習に対して意欲や関心のない町民へのきっかけ提供や意識付けが重要である。</p> <p>②各種広報媒体を活用し、町民が必要とする生涯学習情報の提供や啓発が必要である。</p>	<p>①生涯学習の楽しさや必要性を啓発し、学びのきっかけを提供する生涯学習フェスティバルの定着を図り、更なる充実を努める。</p> <p>②生涯学習の情報発信媒体として「生涯学習だより」・「カルチャーセンターだより」の紙面充実を図る。</p>
	2 学習機会の充実	<p>①町民の多様化するニーズを的確に捉え、公民館講座など学習機会を増やす必要がある。</p> <p>②自主的に学習活動するグループの活動を支援し、指導者の育成を図る必要がある。</p> <p>③文化協会加盟団体の中には高齢化が進み継続が困難な団体もあり、既存団体の活動支援を図る必要がある。</p>	<p>①多様なニーズに対応した講座や教室の企画・開催を行い町民に学びの機会を提供する。</p> <p>②地域の人材を発掘し、指導者としての活用を進め地域に根ざした学びの事業展開を進める。</p> <p>③カルチャーセンターの自主事業を充実させるとともに、各団体と連携し文化振興を図る。</p> <p>④若山牧水顕彰短歌全国大会を関係団体と連携し実施する。</p>
	3 学習環境の整備	<p>①地域の情報・学習拠点としての機能を充実するため、町内4図書室の環境整備を進める必要がある。</p> <p>②既存施設の老朽化の進行や、バリアフリー化の遅れなど、利用者の利便性と安全面を最優先した改修が必要である。</p> <p>③文化振興の中心施設として、カルチャーセンターの利用を安定させ、利用者の要求に添った環境整備を進める必要がある。</p>	<p>①町民の学びを支援するため、図書資料と貸出サービスの充実を図り、施設の利便性に配慮した学習環境の整備を進める。</p> <p>②既存施設の現状を的確に把握し、緊急性の高い箇所から改修を継続する。</p> <p>③文化芸術に気軽に親しむ機会の創出や活動の創作・発表の場としてカルチャーセンターの管理・運営の充実を図る。</p>
	4		

27_生涯学習の推進

平成 29 年 8 月 16 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000001	社会教育委員事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	199,028 円				
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		町の社会教育環境を検討、向上を目的として活動する社会教育委員の支援を行う。	社会教育委員が活発に活動していることを県内で広くPRし、その結果、各研修会等での事例発表以来を多数受けた。また、社会教育委員の存在を町内に周知するために、生涯学習だよりを発行し、社会教育委員が寄稿した記事を掲載した結果、やりがいが出てきたといった意見があった。	事業実績						
	基本事業	01	学習意欲の高揚				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		会議回数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	社会教育委員の職務について明確になっておらず、やりがいを持った活動が図れていない		平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	5	目	1	5	6	回

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000002	婦人会活動支援事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	1,288,000 円				
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		婦人の地位向上に努め、豊かな人間性を培い、明るい町づくりに貢献することを目的に、下記の事業を実施する。 *希望を率める人間性を高める事業 (公民講習会、指導者研修会、研修視察) *学校・家庭・地域社会への協力事業 (健康講座やランニング、町民体育祭協力) *健康づくり、婦人スポーツの振興事業 (ハイキング、町・郡ミニマラソン大会、健康づくり大会) *会員相互の親睦を深める事業 (しぐさフェスティバル、新年賀書会) *総会・定例会	町の広報に開催行事の案内や結果報告等を掲載し、町内へ婦人会活動の周知を行っている。	事業実績						
	基本事業	02	学習機会の充実				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		会員数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	婦人会員も仕事をしている人が多く、すべての行事に参加するのは負担があるようである。あまり強制するのはなく、たとえ少人数でもやりたい人が楽しみながら参加できるように雰囲気作りを心がける。 若い世代(30代40代)の会員も地域差はあるが活動している。地域の活動だけでなく、町婦人会の活動にも積極的に参加している様子が伺える。この世代の会員数を増やしていきたい。	仕事を抱えている婦人も多く、全ての行事に参加していただくことは難しい。そのため、少人数でも参加したい人が楽しみながら参加できる雰囲気作りや機会を増やしていきたい。	平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	5	目	1	217	205	人

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000004	おもしろ科学教室事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	24,000 円				
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		子どもたちの「科学する心」を育てるとともに、青少年の学校外活動の充実を図るため、科学実験・科学工作・野外観察などの体験活動を実施する。	子どもたちや講師の先生のニーズに応じた運営を心がける。	事業実績						
	基本事業	02	学習機会の充実				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		実施回数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	特に問題なく良い活動ができていますので、引き続きこの状態を維持していきたい。	特に問題なく良い活動ができており、関係機関との連携も良好なので、今後も継続していきたい。	平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	5	目	1	2	2	回

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000005	文化振興事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	2,241,000 円				
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		文化・社会教育の振興を図るため予算の範囲内で活動団体に対して補助金を交付する。社会教育委員で構成する審査会で交付の審査を実施する。文化協会活動支援事業と統合	補助金申請事務等を補助しながら、7団体の文化振興事業へ補助金を支出した。	事業実績						
	基本事業	02	学習機会の充実				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		交付件数		
根拠	有	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	様々な社会教育団体があるが、中には補助金交付手続等の事務をほとんど行えない(できる人がいない)団体がある。しかし、事務担当者が一緒に申請書や報告書を作成してあげないと、結局、このような団体は活動できなくなってしまう。	高齢者が多い文化振興事業の中で、若い世代に、もっと事業のことを周知する必要がある。	平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	5	目	1	7	10	件

27_生涯学習の推進

平成 29 年 8 月 17 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000006	生涯学習フェスティバル事業					① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	606,856 円			
施策体系	施策	27	生涯学習の推進					生涯学習に関連する気運向上を図り、関連団体の交流を促進する。	社会教育委員を主管団体にして広く協力者を募り、そうすることで事業周知も促進を図った。	事業実績			
	基本事業	02	学習機会の充実							協力者数・参加者数			
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	5	目	1	50・200	70・300	人
							どのような団体に協力を依頼しているか 協力団体の選考が難しくなっている	事業を重ねていく中で、メニューを取捨選択しながら一層有意義な取り組みにしていきたい。					

平成 29 年 8 月 17 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000007	生涯学習講座事業					① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	62,838 円			
施策体系	施策	27	生涯学習の推進					住民の生涯学習活動の入り口としての講座を開設する	毎回参加者アンケートを実施し、その中で住民ニーズを把握した。	事業実績			
	基本事業	02	学習機会の充実							講座回数・出席者数(延べ)			
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	5	目	1	10・255	8・125	人
							ニーズに基づきつつ、継続して学習できる環境があるメニューの選定に苦慮する	担当者を複数設けることで企画力の向上と負担の分散を図り、内容の充実を目指す。					

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 6 月 25 日更新)

事務事業	000009	成人式事業					① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	495,712 円			
施策体系	施策	27	生涯学習の推進					新成人の門出を祝福するため成人式を開催する。	「みなかみ源流大学」を活用し、講師の人選を行った。	事業実績			
	基本事業	02	学習機会の充実							参加者数・新成人数			
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	5	目	1	187・230	177・226	人
							予算が少ないため、選べる講演企画に限られる。予算を掛けず、なおかつ地元へ愛着を持ってもらうためにも、出来るだけ地元の人材を活用したい。	出席率が高い状況にあるので、引き続き現状の出席率を維持できるように、敵かの内にも興味を引く講演内容を考える。					

平成 29 年 8 月 5 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000011	カルチャーセンター文化振興事業					① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,293,833 円			
施策体系	施策	27	生涯学習の推進					町民の興味をひく事業を、自主事業として開催し、生涯学習の推進・文化振興を図る。	打合せの日程等をこちらサイドから提案し、時間をつくり、できる限り自主事業の充実を図った。	事業実績			
	基本事業	02	学習機会の充実							振興事業実施回数			
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	5	目	3	2	2	回
							貸館事業は、突然入ってくるものであり、それに伴う打合せや準備等、コントロールするのが難しいため、現状では自主事業と両立し更に充実させていくのは困難である。	運営委員会と検討を重ねたり、他の館を参考にして自主事業の充実をめぐる。					

27_生涯学習の推進

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000012	若山牧水顕彰事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,000,000 円	
施策体系	施策	27	生涯学習の推進			町にゆかりのある若山牧水を顕彰し、短歌大会を実施。平成30年度には、牧水顕彰大会全国大会を控え、プレ大会として実施。全国大会の参考とする。	実行委員会と綿密に連携して、他県での様々な事例を調査研究して、平成29年度の県大会、平成30年度の全国大会企画立案に役立てた。	事業実績		
	基本事業	02	学習機会の充実					作品応募者数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	引き続き実行委員会と綿密な連携を行い、積極的に調査研究することにより県大会、全国大会を成功させる。	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	H 28 ~ 30 年間	会計	1	款	10		項	5	目
								0	924	人

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000001	利根沼田文化会館運営費負担事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	25,204,000 円	
施策体系	施策	27	生涯学習の推進			利根沼田地域の福祉の増進と文化の発展に寄与するため利根沼田広域市町村圏進行整備組合で設置した文化会館の維持管理に要する費用を圏域市町村で負担するもの。	平成29年度は、大ホール等工事のため利用者数が激減。	事業実績		
	基本事業	03	学習環境の整備					施設利用者数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	建設当時と37年経過した現在とで利用実態が変わってきており、当初の費用負担が現状とマッチしているのか検証すべき。	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	H ~ 年間	会計	1	款	10		項	5	目
								85,341	18,712	人

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000003	中央公民館管理運営事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,433,283 円	
施策体系	施策	27	生涯学習の推進			中央公民館の管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。社会教育委員を含めた町内の様々な社会教育団体の事務局が置かれ、それぞれの事務を行う。	施設の改修修繕 LED照明器具交換工事 エアコン設置工事	事業実績		
	基本事業	03	学習環境の整備					公民館利用者数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	他市町村の公民館利用状況を参考に、利用料、受付方法を検討していく。また、施設の老朽化により、修繕箇所が増加してきている。	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	H ~ 年間	会計	1	款	10		項	5	目
								9,398	6,827	人

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000004	水上公民館管理運営事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	5,596,417 円	
施策体系	施策	27	生涯学習の推進			主に水上地区内の社会教育団体が社会教育活動を実施している水上公民館の管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。その他、一般市民が様々な会合を実施するために施設を利用する際に便宜を図る。	施設の改修修繕 雨漏り調査修繕 畳張り替え	事業実績		
	基本事業	03	学習環境の整備					公民館利用者数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	施設の老朽化が目立ってきている。緊急避難場所に指定されていることもあり、注意が必要。	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	H ~ 年間	会計	1	款	10		項	5	目
								9,365	8,386	人

27_生涯学習の推進

平成 29 年 8 月 5 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000006	カルチャーセンター管理運営事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	13,334,949 円	
施策体系	施策	27	生涯学習の推進			センターの施設・設備及び児童図書室の環境を整備し、文化活動・鑑賞等の場や機会の提供及び情報の発信等の各種サービスを行うことにより、芸術文化に親しんでもらうとともに、生涯学習の推進に取り組む。	調光・照明を操作できるようにマニュアル化を進めた。また、ホール利用申請者との打合せを充実し、綿密に準備することにより円滑な利用を心掛けた。結果概ね高評価をいただき、リピート利用が増加している。	事業実績		
	基本事業	03	学習環境の整備					施設の利用者数 ・施設の利用回数 (全施設利用団体の累計)		
根拠	無	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	5	目	3
						生涯学習推進 G	杉木 隆司			
							貸館事業は、突然入ってくるものであり、それに伴う打合せや準備等、コントロールするのが難しい。また、調光や音響の操作技術は異動してすぐにはできないため、マニュアル化を進める。図書関係では、図書費の増額により、蔵書は増えつつあるが、これにより書架の不足という新たな問題が発生している。			
							調光や音響の操作技術の技術研修等進めるとともに専門スタッフの配置を検討していきたい。また、図書関係では、蔵書の充実を図ると共に、本を利用しやすい状態を工夫する。	20,210・697	21,519・703	人・回

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000007	水上中部コミュニティセンター管理事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	261,035 円	
施策体系	施策	27	生涯学習の推進			水上中部コミュニティセンターの管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。	施設の各種点検 除雪機の修繕	事業実績		
	基本事業	03	学習環境の整備					利用者数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	5	目	3
						生涯学習推進 G	杉木 隆司			
							施設の老朽化に注意が必要。施設は緊急避難場所になっている。			
							委託協定を結んでいる大穴地区老人会は、活発にこの施設を活用している。今後も管理作業を委託し、より一層、施設を活用してもらう。	1,683	1,755	人

平成 29 年 8 月 15 日作成 (平成 30 年 6 月 25 日更新)

事務事業	000008	図書室運営事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,053,327 円	
施策体系	施策	27	生涯学習の推進			資料の購入・貸出・整理・保管・調査相談等の業務を行い、町民が教養及び知識を習得したり、生活に役立つ情報を得るための支援をする。又、子どもから高齢者まで幅広く利用できる環境のもとに、読書推進及び生涯学習活動の円滑化を図る。県図書館協会が主催する研修への参加及び県内の公共図書館との連携により、図書室活動の向上を図ると共に、相互貸借制度を活用して、利用者の要求に応じた資料提供を円滑に行う。	課題の一つである中央公民館図書室の照明がLEDに交換された。室内の薄暗さが解消され、書架の資料も探しやすくなった。又、老朽化した椅子を交換し安全性と利便性の向上に努めた。町内図書室の利便性向上のため、担当職員で検討会を実施し、今後の方向性を検討した。	事業実績		
	基本事業	03	学習環境の整備					図書室利用者数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	5	目	5
						生涯学習推進 G	杉木 隆司			
							緊縮財政下における効率的かつ効果的な図書室運営を目指していく。老朽化した施設の改善及び電算システムの導入等により利便性を図る。又、教育文化施設の中核を担うためにも、適正な予算及び人員の確保が必要である。			
							当面は既存の施設の運営改善及び充実に努め、住民ニーズに応えていく。懸案事項のシステム導入及び町内施設のネットワーク化、施設の改善(書架の更新及び増加、学習スペースの確保等)等、財政面と調整を図りながら環境整備を進める。	6,199	5,707	人

施策マネジメントシート(平成29年度の振り返り、総括)

作成日 平成 30 年 6 月 21 日

基本目標	V	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称 教育課 課長 杉木 隆司
施策	28	生涯スポーツの推進	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
	①町民	①生涯を通じてスポーツや運動をする。	基本事業	1 スポーツ意欲の高揚	スポーツや運動に意欲や関心がない人
		2 スポーツ機会の充実		スポーツや運動に取り組んでいる人、意欲や関心がある人	スポーツや運動をする機会を得られる。
		3 スポーツ環境の整備		スポーツや運動に取り組んでいる人、意欲や関心がある人	スポーツや運動をする場を確保できる。
		4			
		5			

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	週1回以上、スポーツや運動をしている町民の割合	%	実績値 目標値	46.9 47.0	46.3 47.0	46.7 48.0	47.9 49.0	52.1 50.0	45.5 51.0
B	体育協会加盟競技団体登録者数	人	実績値 目標値	1,930 1,930	1,848 1,930	2,012 2,100	1,520 2,100	1,430 2,100	1,418 2,100	1,240 2,100
C	体育施設利用者数	人	実績値 目標値	130,362 135,000	137,209 135,000	131,180 110,000	132,267 135,000	116,994 140,000	119,086 145,000	126,393 150,000
D			実績値 目標値							
E			実績値 目標値							
F			実績値 目標値							

指標設定の考え方
 A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
 町民アンケートにより把握
 ※あなたはどの程度、運動・スポーツをしていますか。→「ほぼ毎日」、「週に1日以上」と回答した人の割合
 運動とは、軽い体操や散歩などの身体活動
 スポーツとは、ルールや決まりに基づいて活動する、陸上競技やサッカー、柔道や剣道など
 生涯スポーツとは、子どもから高齢者まで生涯にわたって人生の各時期にそれぞれの興味関心や目的に応じて運動やスポーツに親しむこと。競技、レクリエーションとしてあるいは健康体力づくりとして様々な目的や楽しみ方がある。また、するだけでなく観る支える(応援・運営・教える)など様々な関わり方があります。
 B) みなかみ町体育協会に加盟する団体のうち、各競技団体(20団体)に所属している会員数であり、数値が変わらずに推移すれば目標が達成できているといえるため成果指標とした。
 C) 町内にある屋外と屋内の体育施設(学校体育施設の利用者数も含む)の1年間(4月から3月まで)の利用者数であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。

目標設定の考え方
 A) みなかみ町スポーツ推進計画(計画期間10年間)を平成24年度に策定。国・県の目標値は、それぞれ65%、55%としているが、都市部と比較して施設面での不利な状況を考慮すると、5年間で同水準をめざすことは困難。今後、少子化が急激に進み、スポーツ少年団の維持が困難になりつつあったり、人口減少により、団体競技の継続などが困難となっていることを考えると子どもの実施率は下がることが推測される。
 ただし、団塊の世代が退職を迎え、時間的な余裕が生まれる人がおり、こういった人々が取り組むことにより実施率は上昇する可能性がある。また、スポーツ吹き矢など新しい軽スポーツを取り入れており、これらは、高齢者でも一人でも参加できるスポーツで実施率が高まる可能性はある。
 B) 体育協会加盟団体のうち、比較的、誰でも容易に取り組める競技に人気が集まっている。しかし、平成25年度から体育協会に加盟していた団体の中には会員数の減や高齢化に伴い休止、廃止したクラブが出てきた事により、目標値の2,100人を維持して行くには難しくなっている。
 C) 健康志向の高まりで、個人でも気軽に取り組める軽スポーツなどにより体力の向上や健康維持に努める人が増えつつある。

施策のための役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①スポーツや運動の必要性を感じ、講座やイベント、団体・グループ活動に積極的に参加する。 ②スポーツや運動の楽しさを広め、仲間づくりを行うなど、普及啓発に取り組む。 ③指導者となり、さらには後継者を育成する。	①スポーツ教室や大会を開催するなど、スポーツや運動機会の提供や契機づけを行う。 ②体育施設の整備と管理運営を行い、スポーツを行うための場を提供する。 ③スポーツや運動を行う人・団体の活動を支援する。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	①少子化が進み、スポーツ少年団の維持が困難になりつつある。 ②人口が減ると、団体競技の継続などが困難となる。 ③スポーツ立国の実現を目指し、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するスポーツ基本法が平成23年に施行された。この法律に基づき、町では平成25年度より、みなかみ町スポーツ推進計画に沿って推進していく。 ④健康志向の高まりにより、ウォーキングやランニングを行う人が増加傾向。 ⑤スポーツの振興、スポーツに関する施策の総合的な推進を図ることを目的として、2015年10月1日 文部科学省にスポーツ庁が設置された。	①老朽化の進む施設が多くあり、整備に関する要望に応え切れていない。(修繕や設備の機能向上など) ②施設予約については、観光目的の利用と町民の利用が重なることがあり、町民利用に制約が生じている。観光目的の利用予約は特に夏休みに集中している。観光専用の施設も必要ではないかという声もある。 町管理の施設の本体化や利用が少ない施設の見直しなどの要望がある。

施策	28	生涯スポーツの推進	主管課	名称	教育課
				課長	杉木 隆司

		実績比較	背景・要因
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合」は、平成27年度が近年では一番高く52.1%と半数を超えたが、平成28年度は45.5%、平成29年度は44.9%と割合が減少した。平成28年度と平成29年度を比較すると、年代別では50代の割合が8.9ポイント減少し、また、地区別では水上地区が6.6ポイント減少している。 ②体育協会の登録者数は、平成25年度の2,012人をピークに毎年減少の方向にあり、平成29年度では1,240人とピーク時の6割程に減少している。 ③体育施設の利用者数は、ここ2年連続で前年度を上回っており、平成29年度は126,393人となり、前年より7,300人増加した。この内半分以上(3,900人)は、町外の利用者である。
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①国のデータと比較すると、週1回以上運動・スポーツをしている人の割合(全体)は、平成29年度比較で、国51.5%に対して町は44.9%と下回っており、各々の年代別で検証しても全ての年代で国の数値を下回っている。県の数値は最新のものが無いが、検証可能な県と比べても低い状況にある。特に青年層が大きく下回っている。 ・みなかみ町 全体44.9%、青年38.8%、壮年36.2%、高齢者50.9% (平成29年度町民アンケート結果) ・群馬県 全体47.2%、青年51.8%、壮年29.5%、高齢者38.6% ・国 全体51.5%、青年50.0%、壮年44.4%、高齢者64.9% ※青年=20~29歳、壮年=30~59歳、高齢者=60歳以上 ※群馬県の数値は、ぐんまスポーツプラン2011(平成22年度運動・スポーツに関する意識調査による) ※国の数値は、スポーツ庁「平成29年度スポーツの実施状況等に関する世論調査」による ②沼田市体育協会と比較すると、前年よりともに減少しているが、みなかみ町の方が減少率が大きい。 みなかみ町(H28)20団体・1,418人→(H29)19団体・1,240人(178人減・前年比87.4%) 沼田市(H28)30団体・6,985人→(H29)31団体・6,661人(324人減・前年比95.4%) ※沼田市体育協会は競技団体の他に、レクリエーション団体、中体連、スポ少を含む人数 ※利根沼田社会教育要覧の各市町村社会教育要覧による ③年度別の体育施設利用者数を昭和村と比較すると、ともに利用者は増加傾向である。増加率で見ると若干みなかみ町が高い状況である。 みなかみ町 (H28)119,086人→(H29)126,393人(7,307人増・前年比106.1%) 昭和村 (H28)73,021人→(H29)75,253人(2,232人増・前年比103.1%)
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合」は、平成29年度44.9%と目標値52%には達しなかった。年代別で見ると、60歳以上では50%を超えており、青年・壮年層が30~40%台に止まり実施率を下げている。今回の計画見直しにおいても、この年代は「忙しく時間がとれない」という理由が62%を占めており、今後この年代への施策展開が重要と考えます。 ②体育協会加盟団体は、人口減少と高齢化の影響で1団体が休会となり、会員数も1,240人となり目標値2,100人には達しなかった。 ③平成29年度の体育施設利用者数は126,393人と前年より約7,300人増加したが、目標値の15万人は下回った。協会員が減少する中で体育施設利用者数の増加は、団体として会に加入せず個人を中心とする小さなサークル等で活動する傾向にあること、また温泉地として合宿誘致を行うなど町外者の利用が増えたことが考えられる。
成果実績に対する取り組みの総括	①住民が活発にスポーツに親しみ、スポーツを通じて住民相互の和やかな人間関係の育成とコミュニケーションや連帯感の向上により、いきいきとした笑顔あふれるみなかみ町を創造することを基本理念に、みなかみ町スポーツ推進計画に沿って事業を推進した。また、平成29年度が中間年に当たることから今までの結果を検証し、今後5年間の計画見直しを行い今後の方向性を確認した。 ②緑地広場の人工芝ホッケー場は、ホッケー競技の他にグラウンドゴルフ協会の大会開催等で多くの競技者に活用されている。 ③平成28年度にナイター整備が終了した月夜野総合公園「人工芝サッカー場」は、昼・夜多くの団体に活用されている。 ④地域スポーツを活性化するためスポーツ推進委員と連携し、各地区で軽スポーツの普及を目的とした教室を開催した。また、月夜野体育協会は独自に講習会や大会、各地区体育委員会では自主イベントを開催し地域スポーツの普及に取り組んでいる。 ⑤月夜野中学校グラウンドに照明灯7本を設置し、ナイターでの利用が可能となった。今後のスポーツ普及に繋がると考えられる。 ⑥老朽化が進む体育施設の計画的な修繕を進め、今年度は名胡桃体育館の屋根修繕を行った。 ⑦町民にスポーツを推進するため、水上地区ではあるけあるけ大会、月夜野地区ではノルディックウォーク講習会、新治地区ではたくみの里ウォークラリー(雨天中止)を実施した。 ⑧活用が進んでいないトレーニング機器の普及を目的とした講習会を実施し、多くの町民の参加を得た。		

		基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
今後の課題と取り組み(案)	1	スポーツ意欲の高揚	①スポーツ推進計画の目標「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合を55%以上とする」の早期達成のため運動に意欲や関心がない人に身体を動かす楽しさや必要性を周知し、既に取り組んでいる人にはより積極的な活動を推進する必要がある。 ②地域のスポーツ活動を活性化するため、スポーツを推進する地域組織の育成が急務である。 ③幼児期から少年期は、今後のスポーツライフの基盤となることから、子どもたちが身近な地域でスポーツに触れる環境と機会を増やす必要がある。	①平成29年度に見直しを行った「みなかみ町スポーツ推進計画」に則り、スポーツや運動・健康づくり等に関する教室及び講演会を実施する。 ②町教委・スポーツ推進委員を中心に地区体育委員と協力し地域スポーツを推進する組織化を進める。 ③スポーツ競技への意欲を引き上げるため、継続して競技スポーツ優秀者を顕彰する。
	2	スポーツ機会の充実	①子供から高齢者まで幅広く多様化するニーズに応じ、誰もが生涯を通じ健康な生活を送れるよう、継続してスポーツに親しめる機会の提供が必要である。 ②様々な競技の選手や指導者の確保・育成を支援し、スポーツ教室の維持・活性化を図ることが必要である。 ③スポーツの普及において体育協会の担う役割は大きく、協会の活性化は重要である。	①各地区から選出された体育委員やスポーツ推進委員及び体育協会と連携しながら、誰もが気軽に取り組める軽スポーツ教室や各種大会を開催する。 ②みなかみ源流大学と連携を図り、科学的分野からスポーツを考え、競技者の支援を行う。 ③体育協会加盟団体の活動支援、並びに加入促進につながる啓発活動を継続する。 ④2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けたスポーツ・運動への関心機運を利用し、国・県の施策を参考に自らが体を動かすスポーツ施策を行う。
	3	スポーツ環境の整備	①町民誰もが身近な地域で、安全かつ継続的にスポーツが行えるよう、各体育施設の適切な維持管理を進める必要がある。 ②町民の多様なニーズに対応するため施設整備や備品等の更新を行い、利便性の向上を図りながら、施設の有効利用を促進する必要がある。	①みなかみ町体育施設整備計画に基づき緊急性を勘案し、施設の整備を進める。 ②水銀灯の製造中止を鑑み、体育施設全般のLED化を含めた修繕計画を策定する。 ③B&G海洋センターの施設改修を進める。 ④各地区で軽スポーツやトレーニングが安全・手軽に行えるよう用具・機器を計画的に整える。

28_生涯スポーツの推進

平成 29 年 8 月 31 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000001	スポーツ推進委員会事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,847,166 円	
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進			町におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、熱意と能力を有する者の中から、スポーツ推進委員を委嘱し、委嘱した町スポーツ推進委員会の事務局事業	地域スポーツ・生涯スポーツ振興のために、推進委員会議、県内・外の研修会等積極的な参加を促し、委員間の意思統一を図った。スポーツ推進計画の見直しに積極的に携わってもらい、自らの立ち位置や町の進むべき方向と一緒に検討した。	事業実績		
	基本事業	01	スポーツ意欲の高揚					活動回数		
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	6	目	1
						会議において委員が積極的に意見や案が出て来ないことが多い。委員が出した意見や案を積極的に採用し実行し、委員が積極的に活動できる体制整備を行っていく必要がある。	各地域の体育委員等と協力し、地域スポーツ普及の先導役として、活動できる体制を整える。	34	35	回

平成 29 年 8 月 8 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000002	スポーツ推進審議会運営事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	209,554 円	
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進			*みなかみ町教育委員会の諮問に応じて、スポーツの推進に関する様々な問題や課題などを調査・審議して、教育委員会に建議する組織を運営する。今年は審議案件が無かったため会議開催は行わなかった。 *直接的ではないが、スポーツ推進計画の中間見直し年であったため、計画の見直しを行った。		事業実績		
	基本事業	01	スポーツ意欲の高揚					会議の開催回数		
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	6	目	1
						課題なし		0	0	回

平成 29 年 8 月 8 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000001	体育協会活動支援事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,291,000 円	
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進			町民の体力の向上と親善・交流および社会体育の振興を図ることを目的としている任意団体の運営を事務局として支援する。体育協会登録会員は登録競技団体・スポーツ少年団。		事業実績		
	基本事業	02	スポーツ機会の充実					大会・教室等の事業数		
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	6	目	1
						課題なし		85	74	事業

平成 29 年 8 月 24 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000002	スポーツ少年団活動支援事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	450,000 円	
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進			みなかみ町スポーツ少年団事務局業務 また加盟する各スポーツ少年団の活動支援業務	群馬県スポーツ少年団本部が実施する指導者研修会を広く周知・参加してもらい、町スポーツ少年団の活発化を強化した。	事業実績		
	基本事業	02	スポーツ機会の充実					各スポーツ少年団参加児童数		
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	6	目	1
						スポーツ少年団に加盟する各団体によって、加盟する意図が異なる。そのような事から全体としての活動が限られてしまっているのが現状である。学童の育成を行う上で町本部が存在する有効性を改めて周知し、全体の活動の活発化を模索する必要があるように思える。	町独自の研修会やイベントを開催し、指導者同士のつながり、団員同士のつながりを作りたい。	438	426	人

28_生涯スポーツの推進

平成 29 年 8 月 8 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000003	体育振興費補助金交付事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,546,000 円	
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進			社会体育の振興を図る事業を実施する団体等に対し、予算の範囲内で事業実施に要する経費の一部を補助金により交付する。	水上・新治地区では地区選出の体育委員に事業の内容を紹介し制度の活用を依頼。月夜野地区では体協旧支部に今までどおり事業を継続してもらうことを依頼。	事業実績		
	基本事業	02	スポーツ機会の充実					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	申請(交付)件数
根拠	有	組織	教育	課	課長	事業を実施できる団体等の育成。	新治地区では新治体育振興会(仮)が設立予定になっている。この事業を水上地区に紹介し、同様に設立に繋げていきたい。	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款			10	項	6
								3	3	件

平成 29 年 8 月 31 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000004	スポーツ教室事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	195,800 円	
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進			スポーツ機会の充実に資するためスポーツ教室を開催する。	例年チラシを送っている団体に加えて、今回は老人クラブにチラシを配った。結果老人クラブの参加者が増えたことにより、参加人数も昨年よりは増加した。	事業実績		
	基本事業	02	スポーツ機会の充実					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	スポーツ教室開催回数
根拠	無	組織	教育	課	課長	参加人数が伸び悩んでいる上、毎年参加する人はほぼ決まっています。	反省会を実施した結果、年齢や年代をしぼりターゲットを限定した方がいいという意見が多かった。また、公民館などを会場としてこちらから地域に向かうという意見も出たので、来年度はそれらの意見を実施できるかどうか検討し、実施していく。	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款			10	項	6
								1	4	回

平成 29 年 8 月 31 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000005	町民体育祭事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,522,621 円	
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進			町民相互の親睦と融和を深め、町民の体力向上と健康増進を図る為の町民体育祭実施	水上・新治地区の各区長から選出された体育委員を中心に各地区の選手選考・運営について依頼した。	事業実績		
	基本事業	02	スポーツ機会の充実					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	会議等開催回数
根拠	無	組織	教育	課	課長	かねてより課題とされていた各地区におけるスポーツ推進体制の相違について、スポーツ推進計画において統一化が図られることとなり、今後は町民体育祭への参加体制も含め地域活動の推進をしていくことが必要になってくる。	各地区体育委員の組織強化	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款			10	項	6
								5	5	回

平成 30 年 6 月 26 日作成 (平成 29 年 8 月 24 日更新)

事務事業	000006	プール開放事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,440,744 円	
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進			毎年、学校等の夏休み期間中に新治B&G海洋センタープール及び桃野小学校プールを開放し、安全で安心して水に親しむ場所を提供。	平成28年に開放できなかった桃野小学校のプール開放が今年度は実施でき、多くの利用者があった。	事業実績		
	基本事業	02	スポーツ機会の充実					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	利用者数・開放日数
根拠	無	組織	教育	課	課長	沼田市民プール、B&G海洋センター、桃小プール開放事業の連携を図り、利用者の利便向上を図る。また、B&G海洋センタープールの老朽化が進んでいるため今後の方針を検討する必要がある。	今後も、B&G並びに桃小プール開放を実施する。	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款			10	項	6
								1,202・47	1,901・63	人・日

28_生涯スポーツの推進

平成 30 年 6 月 26 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000001	総合体育館管理運営事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,445,419 円		
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	事業実績			
	基本事業	03	スポーツ環境の整備					施設利用者数			
根拠	無	組織	教育	課	課長	月夜野地区体育施設のスポーツ用具が老朽化しているため買い換えなどを進める必要がある。また、臨時職員5名体制であるが勤務は1名なので事務室内での事務しかできない。		平成28年度	平成29年度	単位	
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款			10	項	6	目
			生涯学習推進	G	杉木 隆司			21,641	19,617	人	

平成 30 年 6 月 26 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000002	水上社会体育館管理運営事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	188,680 円		
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	事業実績			
	基本事業	03	スポーツ環境の整備					施設利用者数			
根拠	無	組織	教育	課	課長	耐震調査での報告書について協議し、改修工事の検討	水上地区の体育施設の拠点なので、耐震改修について関係部署と連携し、方向性を決める必要がある。	平成28年度	平成29年度	単位	
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款			10	項	6	目
			生涯学習推進	G	杉木 隆司			12,715	14,314	人	

平成 30 年 6 月 26 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000003	新治B&G海洋センター管理運営事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,781,973 円		
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	事業実績			
	基本事業	03	スポーツ環境の整備					施設利用者数			
根拠	無	組織	教育	課	課長	海洋センターならではの取り組みとして、水を運じた町民の健康増進支援、子供たちの学習や体験の支援といった事があげられるが、それを行うためには専属の育成士がおらず、また過去に育成士を取得した人材が全て他の部署に配属されてしまっている。また、海洋センターのプールが屋外プールであり夏以外には使用できないことも有効な役割を果たせない一因だと思われる。ただしそれらを改善するには莫大な費用と人員を要することから現状の施設でいかに独自の取り組みを行っていくかを模索する必要がある。	施設の老朽化と一部耐震改修の必要性がある箇所の修繕を計画する必要がある。また、アリーナ照明のLED化も合わせて実施する必要がある。	平成28年度	平成29年度	単位	
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款			10	項	6	目
			生涯学習推進	G	杉木 隆司			12,104	9,741	人	

平成 30 年 6 月 26 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000004	体育施設管理運営事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	15,963,478 円		
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	事業実績			
	基本事業	03	スポーツ環境の整備					施設利用者数			
根拠	無	組織	教育	課	課長	関係者への説明・理解	照明器具の水銀灯が2020年で国内製造禁止。輸入禁止になることから順次LED化を進めないことと間に合わなくなるため順番を決めて改修を計画する。	平成28年度	平成29年度	単位	
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款			10	項	6	目
			生涯学習推進	G	杉木 隆司			119,086	80,820	人	

28_生涯スポーツの推進

平成 29 年 8 月 17 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000006	大中島公園管理運営事業				① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,070,370 円						
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進			大中島公園内におけるテニスコートなどの施設の維持、保全管理についての事業である。		事業実績							
	基本事業	03	スポーツ環境の整備					施設維持管理上の不具合・トラブル発生(対処)件数							
根拠	有	組織	地域整備	課	課長	古川 文雄	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策							
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	4	目	4	課題なし	都市公園の維持修繕基準が法令化されたため、町の管理方法を確立する。	平成28年度	平成29年度	単位
												2	1	件	

平成 29 年 8 月 17 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000007	湯桧曾公園管理運営事業				① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	834,777 円						
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進			湯桧曾公園内における多目的広場やテニスコート及びトイレなどの施設の維持、保全管理についての事業である。 指定管理者:ゆびそ塾		事業実績							
	基本事業	03	スポーツ環境の整備					施設維持管理上の不具合・トラブル発生(対処)件数							
根拠	有	組織	地域整備	課	課長	古川 文雄	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策							
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	4	目	4	地元の奉仕活動としての管理は見込なくなっているため、適正な予算措置が必要。 施設の老朽化が進んでいる(テニスコート)	都市公園の維持修繕基準が法令化されたため、町の管理方法を確立する。	平成28年度	平成29年度	単位
												3	3	件	

平成 29 年 8 月 17 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000008	寺間運動公園管理運営事業				① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	972,000 円						
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進			公園内における野球場・サッカー場及びトイレなどの施設の維持、保全管理についての事業である。 指定管理者:スノーアライアンス		事業実績							
	基本事業	03	スポーツ環境の整備					施設維持管理上の不具合・トラブル発生(対処)件数							
根拠	有	組織	地域整備	課	課長	古川 文雄	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策							
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	4	目	4	指定管理者より、野球場・サッカー場の料金・予約方法の変更について協議を投げかけられている。	都市公園の維持修繕基準が法令化されたため、町の管理方法を確立する。	平成28年度	平成29年度	単位
												0	0	件	

平成 29 年 8 月 17 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000009	総合公園管理運営事業				① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	310,932 円						
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進			総合公園施設(バラ園・緑地広場など)の維持、保全管理についての事業である。		事業実績							
	基本事業	03	スポーツ環境の整備					施設維持管理上の不具合・トラブル発生(対処)件数							
根拠	有	組織	地域整備	課	課長	古川 文雄	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策							
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	4	目	4	フラワーガーデン(バラ園)の植栽は、設置後まもなく管理ができなくなり、除草作業のみの管理となっており、駐車場化を検討している。	都市公園の維持修繕基準が法令化されたため、町の管理方法を確立する。	平成28年度	平成29年度	単位
												0	3	件	

28_生涯スポーツの推進

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000012	グラウンドゴルフ場整備事業	①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	10,236,000 円			
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進	グラウンドゴルフ場を整備する。 (H28:教育課→H29:総務課へ移動名称変更)	沼田土木事務所との協議が H30.1終了。	事業実績			
	基本事業	03	スポーツ環境の整備			整備箇所数	平成28年度	平成29年度	単位
根拠	無	組織	総務課 消防・防災 G	課長	原澤 志利	0	1	箇所	
事業期間	期間限定 H ~ 年間	会計	1	款	10	項	6	目	2
				河川占有地あり沼田土木事務所との協議が必要。	平成30年中に完成させる。				

平成 29 年 8 月 8 日作成 (平成 30 年 6 月 26 日更新)

事務事業	000013	月夜野中学校ナイター設備設置事業	①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	53,416,800 円			
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進	月夜野中学校のグラウンドにナイター設備を設置する事業。		事業実績			
	基本事業	03	スポーツ環境の整備			整備完了件数 (整備予定照明灯本数)	平成28年度	平成29年度	単位
根拠	無	組織	教育課 生涯学習推進 G	課長	杉木 隆司	7	7	件 (本)	
事業期間	期間限定 H 28 ~ 29 年間	会計	1	款	10	項	6	目	2
				課題なし					

平成 29 年 8 月 8 日作成 (平成 30 年 6 月 26 日更新)

事務事業	000014	名胡桃体育館施設改修事業	①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	13,370,400 円			
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進	老朽化による雨漏りの工事。屋根全体の修繕		事業実績			
	基本事業	03	スポーツ環境の整備			改修施設数	平成28年度	平成29年度	単位
根拠	無	組織	教育課 生涯学習推進 G	課長	杉木 隆司	-	1	箇所	
事業期間	期間限定 H 28 ~ 29 年間	会計	1	款	10	項	6	目	2
				昭和54年に建設され使用していたが、年々利用者が減少している。老朽が進む中での継続利用の検討が必要。					

平成 29 年 8 月 17 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000015	月夜野総合グラウンドトイレ等整備事業	①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	59,077,600 円			
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進	新規事業・月夜野総合グラウンド利用者のトイレ及び更衣室設置工事 ・木造1建て、95.23㎡の建物、トイレ38.09㎡、更衣室39.76㎡	・周辺市町村の施設の確認実施、議会産業観光常任委員会で建物の審査を実施し、デザイン等を決定する。 ・設計の早期発注	事業実績			
	基本事業	03	スポーツ環境の整備			整備箇所数	平成28年度	平成29年度	単位
根拠		組織	地域整備課 都市計画 G	課長	古川 文雄	-	1	件	
事業期間	期間限定 H 29 ~ 1 年間	会計	1	款	10	項	6	目	2
				・建築工事が伴うので、早期に業務の設計委託を行い、工事発注を早期に行い、年度内に建物を竣工する。 ・トイレの規模、デザインについて調査、検討が必要	・早期に業務委託設計書を作成し、設計業務の入札を終了する。設計を工期内に完了し、建築工事の発注を早期に実施し、年度内完成を目指す。				

施策マネジメントシート(平成29年度の振り返り、総括)

作成日 平成 30 年 6 月 21 日

基本目標	V	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称 教育課 課長 杉木 隆司
施策	29	文化財の保存と活用	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名	対象	意図	
	①町民 ②町内の文化財	①文化財に対する意識を高め、保護や継承を行う。 ②適切に保護され、後世へ継承される。		1	文化財の保存	保護や継承に取り組んでいる人 町内の文化財	保護や継承に積極的に取り組める。 適切に保護され、後世へ継承される。
				2	文化財の活用	町民	文化財に関心を持ち、重要性を知る。
				3			
				4			
				5			

成果指標	成果指標名		単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	文化財の保護活動参加者数	人	実績値		320	303	565	795	672	705
				目標値		320	320	320	320	320	
B	地域の伝統芸能に参加している町民の割合	%	実績値	10.7	11.1	8.3	8.5	9.2	8.5	19.1	
			目標値		10.8	11.0	11.2	11.4	11.6		
C	保護・継承されている指定文化財の数	件	実績値	96	96	98	97	102	102	103	
			目標値		97	98	98	99	99		
D	地域で継承されている伝統芸能の数	件	実績値	30	30	30	30	30	30	30	
			目標値		30	30	30	30	30		
E			実績値								
			目標値								
F			実績値								
			目標値								

指標設定の考え方と実績値の把握方法

A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
 主管課が毎年保護活動に対する謝礼を支払う際に年間の活動実績を調査指定文化財で維持管理に経費の生じるもの(指定文化財全体の約4割)については管理者に対して実績報告に基づき謝金(5,000円～10,000円)を支払っている。
 B) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
 町民アンケートにより把握
 ※あなたは日頃、文化芸術に触れ親しんでいますか。→「地域の伝統芸能(祭りや神楽、獅子舞など)に参加する」と回答した人の割合
 C) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
 主管課で実数を把握
 D) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
 主管課が毎年保存会等代表者に直接聞き取り調査を実施

目標値設定の考え方

A) 地区や神社の役員などがこれに当たるが、年々減少の傾向にあり、成り行き値は2年ごとに5人ほど減少すると予想される。文化財の啓発普及活動を活発にするなど郷土愛とともに地元の文化財を自分たちで保護するという考え方を広める工夫を行うことなどにより現状を維持する。
 B) 伝統芸能の本来の意味に賛同し、継承に新たに保わってくれる人を確保するのは困難であり、高齢化が進行するため、伝統芸能の保護継承に携われる人が徐々に減少するのではない。
 C) 今後、指定文化財として指定される可能性のあるものが数件ある。文化財保護委員の活動が活発であり、増加する可能性が高い。2年に1件のペースで増やし、平成29年度に100件をめざす。【沼田市:91件(H28)、片品村:65件(H28)、川場村:10件(H28)、昭和村:21件(H28)】
 D) 現在のところ教育委員会で把握している地域の伝統芸能(太々神楽、獅子舞など)は30件である。いずれも人員・予算的にギリギリの状態であるが、参加者を地元の地区以外からも募集するなど様々な工夫をこらして継承している。多少なりとも教育委員会として応援し、現状を維持することを目標とする。

施策のための役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①身近にある地域文化や文化財に関心を持ち、その重要性を認識するとともに、保護・啓発に努める。 ②地域の伝統行事に積極的に参加し、後世に継承する。 ③保護行政の理解・協力を努める。	①文化財に関する情報を発信するなど、町民の意識啓発を行い、郷土や歴史への認識を深める。 ②建物・史跡・美術工芸・天然記念物等の有形文化財を調査し保護管理する。 ③文化財の保護活動や後継者の育成を支援するなど、地域文化の継承を推進する。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	①文化庁は従来文化財の保護を重視してきたが、最近では活用にも力を入れ始めている。しかし、観光目的重視というわけではなく、あくまでも文化財保護をクリアしたうえで観光等に活用するという考え方である。 ②町文化財調査委員は意欲的であり、新しい指定文化財が増えていくと考えられる。 ③人口減少や少子高齢化により、伝統芸能の継承者が減少。後継者育成が困難な状態になる。	①文化財等の保存意識の強い住民から、伝統行事の衣装や備品、文化財の修繕に関する要望が多い。 ②文化財の公開の仕方を考えてほしい。特に名胡桃城址や矢瀬遺跡。 ③予算的な措置と合わせて後継者の募集なども協力して欲しいとの要望がある。

施策	29	文化財の保存と活用	主管課	名称 教育課 課長 杉木 隆司
----	----	-----------	-----	--------------------

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	<input checked="" type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①文化財の保護活動参加者は平成27年度に実績値の算定値を精査した結果795人と最大値に急増した。その後も若干減少傾向にはあるが、平成29年度においても705人と高い数値を維持している。 ②地域の伝統芸能へ参加している町民の割合は、ここ数年8～9%台に止まり、目標値に届かない状況であったが、平成29年度は19.1%と急増する結果となった。(平成29年度中に町民アンケートの設問内容に「鑑賞することも含む」を追記した事も急増した要因であると考え)。 ③指定文化財数は順調に増加し、平成29年に1件増え103件となった。 ④地域で継承されている伝統芸能の数は、地域住民の努力によりここ数年減ることなく維持できている。
	② 他団体との比較	<input checked="" type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①近隣自治体と比較して、指定文化財の数は非常に多い。要因として、歴史的遺産を文化財指定するには、文化財調査委員や教育委員会の判断によることから、町民の歴史に対する意識が高いことがうかがえる。 また、一般的に街道沿いには文化財が多いことから、三国街道があったことも大きな要因と考えられる。 ※平成30年3月31日現在の各市町村の指定文化財数(単位:件) みなかみ町 国:8 県:22 町:73 計:103 沼田市 国:3 県:14 市:74 計:91 片品村 国:4 県:6 村:54 計:64 川場村 国:0 県:5 村:5 計:10 昭和村 国:0 県:2 村:19 計:21
	③ 目標の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①文化財の保護活動参加者数 参加者数のピークであった平成27年度と比較すると若干減少はしているが、目標値である320人を大きく上回り705人である。文化財保護活動の大切さについて、周知を継続していることで、関係者の取り組み意欲が維持されているためと考える。 ②地域の伝統芸能に参加している町民の割合 目標値11.8%を大きく上回り19.1%となった。(平成29年度中に町民アンケートの設問内容に「鑑賞することも含む」を追記した事も急増した要因であると考え)また、羽場日枝神社獅子舞が県指定文化財に格上げになるなど明るい話題が、地域に広がり、伝統芸能が身近なものとして受け入れられてきたのではないかと考える。 ③保護・継承されている指定文化財の数 当初の目標であった2年に1件を指定し平成29年度までに指定文化財を100件とする目標は、平成27年度にすでに達成し、平成29年度には103件となった。 ④地域で継承されている伝統芸能の数 目標値どおり30件を維持できた。しかし、人口の高齢化・減少を起因として、地域に伝わる神社行事などの伝統芸能が衰退・無くなってしまふ恐れは依然として残っている。
成果実績に対する総括	①指定文化財および伝統芸能の数については目標どおりである。重要文化財や史跡、天然記念物など物件としての文化財は残りやすいが、伝統芸能など無形文化財等は、それに関わる人がいなくなる恐れがある。現在、指定文化財に関しては所有者・管理者に対して管理状況等を調査し、それに対して文化財管理謝金を支払う措置を施すことにより文化財の保護・継承に努めている。また、伝統芸能など無形文化財については、一度絶やすと再興が難しく、後世に実際の映像を残すために実演風景を記録媒体へ録画した。 ②猿ヶ京城址を新たに町指定文化財として登録した。 ③文化財保護法が改正され、従来の文化財保護に加え活用を積極的に行うことが加えられた。その為、平成29年度は地域の特色ある埋蔵文化財活用事業として国庫補助金を活用し、文化財シンポジウム2回(名胡桃城址・水上石器時代住居跡)・パンフレットの新規作成等・案内導入板及び説明板の設置を行い町内文化財の活用につなげた。 ④小中学校伝統芸能教室として古馬牧人形浄瑠璃の体験教室を継続的に実施し、伝統芸能の周知・普及に努めた。(平成29年度:月夜野中・月夜野北小の2校で実施)		

今後の課題と取り組み(案)	基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
	1 文化財の保存	①文化財は時代の経過と変化する社会情勢の中で、遺失・風化・管理者不足・老朽化等諸課題が懸念されている。計画的な保存と普及活動を進めることが必要である。 ②伝統芸能・文化は過疎化や高齢化に伴う後継者不足や道具等の損傷により、その継承や保存が厳しい状態である。一度絶やすと再興が難しいため、効果的な施策が急務である。	①早急な修繕が必要な国指定・旧戸部家住宅並びに雲越家住宅のかやぶき屋根修復事業を行う。 ②小中学校伝統芸能教室として古馬牧人形浄瑠璃の体験教室を継続して実施し普及に努める。 ③伝統文化の保存・継承に向けた支援・助言を行う。
	2 文化財の活用	①文化財の保護を前提に、一過性では無い恒常的な観光・学習資源として活用を図る施策の展開が必要である。 ②町内5ヶ所の資料館の展示に工夫を凝らすなど、資料館の活性化を図る必要がある。	①町の歴史ガイドや、関係部署等と連携し、文化財を活用した事業の展開をはかり、観光資源としての活用を進める。 ②資料館を、有効的に活用するための展示内容等を検討し運営方法の充実を図る。 ③学校や町民に対し、パンフレットや資料の利用を促し、文化財への関心と、学習教材としての活用を進める。
	3		
4			

29_文化財の保存と活用

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000001	国指定文化財管理事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	350,957 円				
施策体系	施策	29	文化財の保存と活用		文化財保護事業の中でも国指定文化財に限定した管理事業。現在、8件のみなかみ町指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。毎年、県から依頼される「地方文化行政状況調査」、「特別地方交付税算定調査」等で国、県、町指定文化財それぞれの経費をあげなければならないため、国、県、町で分けなければならない。	町外文化財に対する積極的な視察・研修を行い、国指定文化財の保護管理業務の参考とした。今年度は雲越家住宅の現地説明資料に中之条町旧富澤家住宅の方法を取り入れた。		事業実績					
	基本事業	01	文化財の保存					主な文化財の見学者数(雲越家住宅・旧戸部家住宅)					
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	～	年間	会計	1	款	10	項	5	目	4		
									担当者の専門性が要求される。そのため、調査、研究をしていく必要がある。また、矢瀬遺跡は国庫補助事業により大規模な原状復旧作業を行う必要がある。	矢瀬遺跡の表示方法についてわかりずらいという意見を多方面から指摘されている。町外の同様な史跡公園を参考にして改良していきたい。	平成28年度	平成29年度	単位
											1,445	972	人

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000002	県指定文化財管理事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	3,168,124 円				
施策体系	施策	29	文化財の保存と活用		文化財保護事業の中でも県指定文化財に限定した管理事業。現在、22件の県指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。毎年、県から依頼される「地方文化行政状況調査」、「特別地方交付税算定調査」等で国、県、町指定文化財それぞれの経費をあげなければならないため、国、県、町で分けなければならない。なお、平成22年度より名胡桃城址保存整備委員会を設立。今後、名胡桃城址の保存管理計画を策定すると同時に史跡整備を行っている。	町外文化財に対する積極的な視察・研修を行い、県指定文化財の保護管理業務の参考とした。今年度は旧足利学校の事例を参考に猿ヶ京関所跡で毎年10万円分の差茅修繕を行う計画をたてた。		事業実績					
	基本事業	01	文化財の保存					主な文化財の見学者数(名胡桃城址)					
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	～	年間	会計	1	款	10	項	5	目	4		
									担当者の専門性が要求される。そのため、調査、研究をしていく必要がある。	平成29年3月付けで羽場日枝神社の獅子舞が県指定に格上げされた。今後は古馬牧の人形浄瑠璃同様に対外的な公演補助や財政的な補助をしていく。	平成28年度	平成29年度	単位
											67,141	18,093	人

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000003	町指定文化財管理事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	373,174 円				
施策体系	施策	29	文化財の保存と活用		文化財保護事業の中でも町指定文化財に限定した管理事業。現在、66件のみなかみ町指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。毎年、県から依頼される「地方文化行政状況調査」、「特別地方交付税算定調査」等で国、県、町指定文化財それぞれの経費をあげなければならないため、国、県、町で分けなければならない。	町外文化財に対する積極的な視察・研修を行い、町指定文化財の保護管理業務の参考とした。今年度は町外の山城を参考に小川城址パンフレット作成に取り組み、下書きまで作成した。		事業実績					
	基本事業	01	文化財の保存					月夜野郷土歴史資料館見学者数(町指定文化財を展示している)					
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	～	年間	会計	1	款	10	項	5	目	4		
									担当者の専門性が要求される。そのため、調査、研究をしていく必要がある。	指定文化財でも小川城址のようにパンフレットがない史跡がいくつかある。見学者からの要望があることからすべての史跡でパンフレットを作成していく。	平成28年度	平成29年度	単位
											260	457	人

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000004	埋蔵文化財調査事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	0 円				
施策体系	施策	29	文化財の保存と活用		埋蔵文化財包蔵地で開発が行われ、それに伴い発掘調査が行われる場合に必要となる事業。したがって、普段は行わない事業であり、当初予算も計上していない。なお、町村合併後の実績はほとんどなく、年間1件程度の試掘調査だけである。ただし、このほか平成25年度から平成27年度までの3ヶ年計画で、国史跡水上石器時代住居跡の遺跡範囲確認調査を実施する。	県文化財保護課が行った試掘調査の立ち会いをさせていただき、現場での調査要領等を視察した。		事業実績					
	基本事業	01	文化財の保存					埋蔵文化財包蔵地確認(照会)					
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	～	年間	会計	1	款	10	項	5	目	4		
									いつ、調査が必要になるかわからないため、常に調査研究を行い準備をしておく必要がある。また、出土遺物を資料館等で展示しなければならない。	きわめて専門性の高い発掘調査が主な業務となるため、常に調査研究を行っていく。	平成28年度	平成29年度	単位
											36	42	件

29_文化財の保存と活用

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000005	文化財調査委員会事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	410,363 円	
施策体系	施策	29	文化財の保存と活用			文化財調査委員を招集し、文化財の保護と啓発普及のために調査委員と連携して文化財全般に関する調査研究を行う。	調査委員から指摘されていた新治地区中世城郭を文化財指定するため、類似史跡の視察・研究を継続した。これに基づき猿ヶ京城址に関する諮問・答申を行えた。	事業実績		
	基本事業	01	文化財の保存					資料館(月夜野・水上・雲越)見学者数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	5	目	4
			生涯学習推進	G		杉木 隆司	担当者の専門性を高める。	1,705	1,895	人

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000001	月夜野郷土歴史資料館管理運営事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,988,123 円	
施策体系	施策	29	文化財の保存と活用			月夜野郷土歴史資料館の管理運営	地元の町組より活用促進を求める請願が提出され、議会でも検討されている。	事業実績		
	基本事業	02	文化財の活用					来館者数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	5	目	3
			生涯学習推進	G		杉木 隆司	撤去費用が高額であり、その計上方法を検討しなければならない。	260	457	人

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000002	水上歴史民俗資料館管理運営事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	51,737 円	
施策体系	施策	29	文化財の保存と活用			水上歴史民俗資料館の管理運営	数百点にわたる展示物のキャプションを書き換えて新しくした。また、大型の年表も新たに作成した。	事業実績		
	基本事業	02	文化財の活用					来館者数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	5	目	3
			生涯学習推進	G		杉木 隆司	専門分野に関わることであり、担当者による研究が必要。また、観光部門との提携、より一層の展示内容の工夫が必要。	986	972	人

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000003	雲越家住宅資料館管理運営事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	447,404 円	
施策体系	施策	29	文化財の保存と活用			雲越家住宅資料館の管理運営	みなかみ町教育旅行者と連携して団体客の入込みを行った。	事業実績		
	基本事業	02	文化財の活用					来館者数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	5	目	3
			生涯学習推進	G		杉木 隆司	地域住民の協力と観光部局との連携	459	466	人

29_文化財の保存と活用

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000004	永井宿郷土館管理運営事業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	500,000 円					
施策体系	施策	29	文化財の保存と活用			予算上は郷土歴史資料館等管理運営事業に統合している。	指定管理事務を行い、地元永井区に管理全般を委託した。	事業実績					
	基本事業	02	文化財の活用					来館者数					
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	指定管理しているため、基本的には展示内容等を含め永井区に委託している。	管理は永井区に委託できるが、他の資料館と同様に調査研究を行ったうえで資料館としての質を高めていく必要がある。	平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	継続事業	H ~ 年間	会計	1	款	10			項	5	目	3	511

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000005	県博物館連絡協議会参画事業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	10,000 円					
施策体系	施策	29	文化財の保存と活用			群馬県内における公設・私設資料館および美術館等の連絡協議会事務。	できる限り総会・研修会等に積極的に参加することにより、他の資料館等と連絡調整体制を維持した。	事業実績					
	基本事業	02	文化財の活用					入館者数					
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	専門的な学芸員(資料館・博物館専門員)がいないため、この業務を専属でできる職員がいない。	資料館の質を高めるために連絡協議会主催事業にできる限り参加する。	平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	継続事業	H ~ 年間	会計	1	款	10			項	5	目	3	260

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000006	猿ヶ京関所資料館管理運営事業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,364,922 円					
施策体系	施策	29	文化財の保存と活用			猿ヶ京関所資料館の管理運営	猿ヶ京温泉地区活性化委員会に参加して、地元における猿ヶ京関所跡の位置づけを確認するとともに今後の活用計画(資料館として一般公開を行う事等)を周知した。	事業実績					
	基本事業	02	文化財の活用					入館者数					
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	専門分野に関わることであり、担当者による研究が必要。また、観光部門と提携することにより一層の展示内容の工夫が必要。	展示キャプション等が古く、新しいものに書き換える必要がある。	平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	継続事業	H ~ 年間	会計	1	款	10			項	5	目	3	1,316

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業	000007	埋蔵文化財活用事業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,063,724 円					
施策体系	施策	29	文化財の保存と活用			埋蔵文化財活用を促進するため、国・県・市指定史跡を中心に案内板設置、パンフレット作成、講演会を行う。	文化財指定されているが未整備の埋蔵文化財3件のパンフレットを新規に作成して、活用につなげた。	事業実績					
	基本事業	02	文化財の活用					新たにパンフレット、看板を作成して活用につなげられた埋蔵文化財数					
根拠	有	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	パンフレット作成および講演会実施については専門性・学術性が要求される。	今後もパンフレットや看板がない埋蔵文化財については、あらたに作成して活用につなげる必要がある。	平成28年度	平成29年度	単位		
事業期間	新規事業	H 29 ~ 1 年間	会計	1	款	10			項	5	目	4	-

5. 学識経験者の意見等

1. 学校教育関係

【学校教育の充実】

『学力テストの結果』

小中学校とも少しのポイントの下がりがみられたが、80%台の維持は立派である。しかし、ポイントが下がった原因は何なのか把握をしておいてその対策は必要であろう。学力の向上のためには教師の指導力が大きな要素となる。教師自身の研鑽努力等により指導力の向上を図り、児童生徒の学習意欲を引き出し、基礎基本を定着させてきているその反映であると思う。その支えが個に応じた指導、きめ細かい指導など子ども達ひとり一人に寄り添った指導の展開であり、そのために特配、補助教員、支援員などの配置は大きな貴重な事業であり、今後ともぜひ継続をお願いしたい。

『体力テストの結果』

例年並みでおおきな変化はみられないが、体位の方はどうであるか。ローレル指数の高い児童生徒、運動嫌いの傾向はないか、視力の低下傾向等はないかなども併せてみておくことが必要ではないか。

『不登校児童生徒数』

横ばいの傾向にある。児童生徒それぞれに理由やきっかけがあるわけだがその実態を押さえ、対応策を講じる必要がある。

無理に学校へというこれまでの風潮とはちがった考えが出てくる中で、不登校をどのように捉えるか。なぜこのような対応策が必要なのかを共有する必要があるように思う。また、人数でなく全体に占める割合で考えていってはどうか。

『小中学校教育研究会事業』

みなかみ町のこどもたちの育ちに貢献する研究会であるべき。

教師は子ども達にしっかりとした学力・体力・徳力を身に付けた成長を図るためのみなかみまちの教師として研鑽を重ねる。また、子ども達に経験や体験等を通し人格の形成の資質を身に付けさせるための教師の研究会であってほしい。

『中学生海外派遣事業』

生徒には、多くの体験を重ねる機会が提供されている。

この交流事業や派遣事業がなぜ推進されているか、その意義を十二分に協議・検討され後の子ども達の人生に生かされていく一つのものとして位置づけられることを期待したい。ぜひ多くの生徒にこの機会を意欲的に活用させてほしい。

『自然学習教室補助事業』

天文台の見学、昆虫の森の見学・体験の事業が行われているが、これらを学校カリキュラムの中にしっかり位置づけ、学習等に生かされるように、また、エコパークの中の学校として生かされていってほしい。

『家庭教育支援事業』

生涯学習グループとの共催。保護者の皆さんのニーズに応えるような内容、また、親の心を啓発するようなもの、こころに響くものであれば成果が考えられる。予算の制約のある中での講師の選択が難しいが絶対必要なものであれば内容を選択のうえ確実に実施すること。

【総 評】

「みんなで仲良く学び合い、感謝と感動の心を育み、未来に向かって逞しく生きる児童・生徒の育成」を目指し事業が推進された1年でした。

学力の面で、昨年度に比較し多少ポイントが下がったが全体的には高いところで維持されており、教師の優れた指導力と児童生徒の自らの意欲の向上が基礎となり、少人数指導、TT指導など個に応じた子どもに寄り添った指導がその支えである。この事に対し、県の学力向上のための特配、コーディネーターの配置、そして町として大変に配慮して頂いている補助教員、支援員等の配置と機能が大きな力となっている。ぜひ、今後とも継続しての配慮を強くお願い致します。また、学校生活に対する適応状況であります。少しのポイントの下落がみられるが高い水準である。何をもち学校生活が楽しいのか、この事と不登校者の存在、あるいはいじめの件数との関わりも考えられるが吟味すると共に適切な対応をお願いしたい。小学生の交流事業、中学生の海外派遣事業、将来への投資の意味で意義がある。学ばせたいものの内容を明確にし、可能な限り多数の児童生徒に広げ体験させたいと願います。自然学習教室、尾瀬学習事業もエコパークの中の学校として重みのある事業と考えられる。カリキュラムの中に位置づけ積極的、計画的、意欲的な事業であることを望みます。ユネスコ・エコパークに登録されて以降、地域の学校教育において非常に意義あることと思う。自然との共生、環境教育、人権教育等々との重要な素材となるなどまさに子ども達が人間としての生き

方を考える大きなテーマとなるものと思います。積極的な取り入れを期待したい。児童生徒数の減少に伴う学校の適正な配置に関しても、直接ではありませんが、考え、推進していく中での資料の一つとして考えていけるのではないかと思います。

以上、この1年間、新しい動きあるいは内容の変革を予感をさせる新年度に繋がっていく貴重な1年間であったように思います。実りある1年でした。

2. 生涯学習関係

【生涯学習の推進】

『日頃から生涯学習を行っている町民の割合』が平成27年度から増加しているのはよい傾向である。現行の有効な施策を明確にし、町民の生涯学習への意欲・関心がより一層高まり、町民が継続して生涯学習に取り組めるよう計画的に施策を遂行していく必要がある。

『文化協会加盟団体登録者数』が減少傾向にあることは憂慮すべきことである。少子高齢化や地域のコミュニティー力の低下に伴うものとも思えるが、加盟文化団体の活動内容や実情を的確に把握し、支援できる部分への人的・財政的支援を積極的に進める必要がある。

『生涯学習施設利用者数』は約2000人ずつ減少して、目標値の約60%に近づきつつあることは憂慮すべきである。町民各層への学習機会の提供内容の見直しをするとともに、学習グループや自主サークルへの積極的な人的・物的・財政的支援を行っていく必要がある。また、施設設備の充実・改善やバリアフリー化の早期実現を図る必要がある。

今後は、町民の参加しやすい事業・講座の実施、活用しやすい図書室のシステム構築や生涯学習施設設備の老朽化の改善など、町民が生涯を通じて自主的に学習できるみなかみ町を目指して、学習環境の整備・充実に重点を置いた施策の実施を期待したい。

【生涯スポーツの推進】

『週1回以上、スポーツや運動をしている町民の割合』が減少傾向にあることは憂慮すべきことである。生活時間に余裕のない青年・壮年層の取り組みの低いことが原因のようであるが、短時間でできる軽スポーツの情報提供等を行い、体を動かすことの必要性を啓発していくとともに、運動をしている人を通じた仲間づくりも促していく必要がある。

『体育協会加盟競技団体登録者数』の減少に歯止めがかかっていないのは憂慮すべき状況である。少子高齢化、個人志向の高まり、地域での組織活動を好まない町民の増加など、競技団体の組織化が難しい面も見られるが、町民の運動に関する興味関心は高いと思われるので、指導者の育成や派遣、軽スポーツ教室の実施など、町民がいつでもどこでもスポーツのできる環境づく

りを積極的に進める必要がある。

『**体育施設利用者数**』が増加傾向にあるのは良いことである。身近な地域で、安全に楽しくスポーツができるよう、施設設備の維持管理や機能充実、利便性の向上を図りながら、さらなる利用促進を促す必要がある。

今後は、青年・壮年層に対するスポーツ実施環境の整備や指導者の育成と派遣、体育施設の整備充実・老朽化の改善等に向けた積極的な取り組みを期待したい。

【文化財の保護と活用】

『**文化財の保護活動参加者数**』が目標値を大きく上回っていることはよいことである。町民の文化財に対する意識の高さや文化財保護活動の意識の高まりがうかがえる。今後も文化財の保護・保存に対する啓発活動を継続して、文化財の保護・保全に取り組んでいく必要がある。

『**地域の伝統芸能に参加している町民の割合**』が伝統芸能を見ることを通して急増したことはよいことである。積極的に町内の伝統芸能を町民に見せる機会を創るとともに、見る機会を通して伝統芸能を継承する必要性や地域の取り組みに参加する意欲を醸成する必要がある。

『**保護・継承されている指定文化財の数**』が1件増加し、103件になったのはよいことである。文化財調査委員の活動をより一層充実し、町内文化財の調査を充実するとともに、指定に向けた保護・保全に取り組む必要がある。

『**地域で継承されている伝統芸能の数**』は変化が見られない。人口減少や少子高齢化により継承者を確保するのが難しい状況にあると思うが、地域の伝統芸能が途切れることなく後世へ引き継がれていくよう物的・財政的支援を強化することを期待したい。

今後は、町民の文化財の保護と活用に関わる意識の高揚、保護・継承に向けた意識の高揚、調査研究・保護保全活動の充実を期待したい。また、三国街道を中心として町内観光の目玉づくりに取り組むことも期待したい。

教育委員会の点検・評価報告書
(平成29年度事業対象)

平成30年度12月発行

編集・発行 みなかみ町教育委員会
〒379-1393
群馬県利根郡みなかみ町後閑318番地
TEL 0278-62-2275

